

12.5型ハイビジョンモニター一体型  
ハードディスクレコーダー  
(映像・音声4入力、AHD3.0、3TB)

# AVR8124HM

取扱説明書(保証書付)

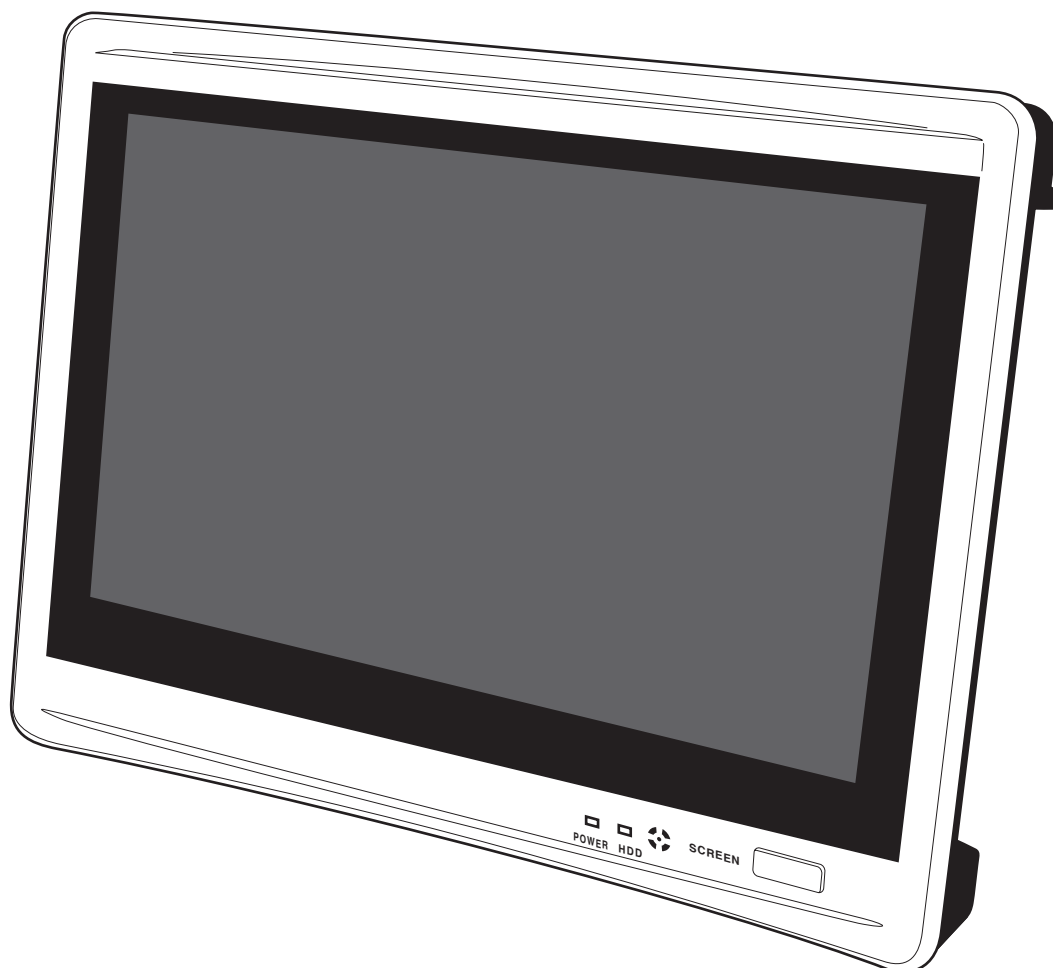
HD  
720  
モニター

Full HD  
1080  
録画

AHD

UTC

H.265  
HEVC



この度は「AVR8124HM」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
電源を入れる前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。  
末永くご愛用いただくために、この説明書は必ず大切に保管していただきますよう  
お願いいたします。保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、  
販売店からお受け取り下さい。

# 目次

---

## 必ずお読みください

安全上のご注意	02
免責事項	03
プライバシー、肖像権について	03
液晶モニターについて	04
HDD について	04
記録内容に関する免責事項	04
ネットワーク接続について	04
パスワード変更のお願い（第三者アクセス防止のため）	04
梱包内容の確認	05
ライブ画面について	05

## はじめる手順

手順 1 箱をあける	06
手順 2 設置する	06
手順 3 電源を入れる	06
手順 4 カメラの接続（接続後、自動で録画開始）	06
手順 5 ネットワークケーブルの接続	07
手順 6 USB マウスの接続	07
手順 7 『最初の設定』をする	07
手順 8 設定を変更する	07
手順 9 録画映像の再生	07
手順 10 本体の電源を切る	07

## お使いになる前に

各部の名称	08
接続例	10
機器の接続について	11
最初の設定（スタートアップウィザード）	12

## 基本の操作

メインメニューについて	14
カメラの接続設定（チャンネルモード）	15
映像の再生（再生モード）	16
再生画面	18

## 録画に関する設定

録画画質	23
録画機能	24
バックアップ	25
アラーム機能—モーション設定	26
アラーム機能—映像遮蔽	28
アラーム機能—信号ロス	29
アラーム機能—異常表示	30
アラーム機能—人型検出	31
アラーム機能—顔検出	32
システムに関する設定	33
基本設定（時刻、言語など）	33
アカウント	35
CAM 番号	38
ディスプレイ	38





## 必要に応じて













録画した映像をすべて消去する（HDD 設定）	34
工場出荷時の設定に戻す	41
ファームウェアを更新する（アップグレード）	42
ネットワーク設定	44
特長	53
録画日数の目安（初期設定）	53
故障かな?と思ったら	54
仕様	55
スマートフォンからモニタリング（スマートフォンアプリの準備）	56
アプリの設定	56
PC で遠隔操作	60
保証書	裏表紙

# 安全上のご注意









この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 絵表示について

 <b>警告</b>	この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。	 <b>してはいけない内容です</b>
 <b>注意</b>	この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。	 <b>実行しなければならない内容です</b>

 <b>警告</b>	
 ■ <b>水をかけたり、ぬらしたりしない</b> 火災、感電、けがの原因になります。	 ■ <b>雷が鳴ったら本体や電源プラグ、ACアダプターに触れない</b> 感電の原因になります。
 ■ <b>分解・改造・修理はしない</b> 火災、感電の原因になります。	 ■ <b>異物が入ったときは使用を中止する</b> そのまま使用すると火災、感電の原因になります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
 ■ <b>異常な状態で使用しない</b> (発熱、発火、発煙、異臭、異音がするなど)火災、感電の原因になります。 すぐに電源プラグやACアダプターをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。	 ■ <b>落としたり、破損したときは使用を中止する</b> そのまま使用すると火災、感電の原因になります。 すぐに電源プラグやACアダプターをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。
 ■ <b>コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、AC100V以外での使用はしない</b> たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。	 ■ <b>電源プラグやACアダプターは根元まで確実に差し込む</b> 差込が不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
 ■ <b>電源プラグやACアダプター、コードなどに水をかけたりしない</b> 感電の原因になります。 ぬれた場合は、すぐに電源プラグやACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。	 ■ <b>電源プラグやACアダプターのほこりは定期的にとる</b> プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災、感電の原因になります。 プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
 ■ <b>電源プラグやACアダプター、コードなどを破損しない</b> (傷つける、加工する、無理やり曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を乗せる、加熱するなど)傷んだまま使用すると火災、感電、けがの原因になります。 電源プラグやACアダプター、コードなどの修理は販売店にご依頼ください。	

## ⚠ 注意

-  ■ **不安定な場所や振動の多い場所には設置しない**  
(ぐらつき、傾きのある場所)落下などにより破損やけがの原因となります。
-  ■ **湿気が多い場所、結露が発生しやすい場所に設置しない**  
(風呂場、台所や水まわりなど)  
結露しますと電子部品の誤作動、故障、劣化などの原因になります。温度差により結露(水滴)が発生しやすくなります。
-  ■ **高温になる場所に設置しない**  
(直射日光の当たる場所、車のトランク、ダッシュボード、ヒーターなど熱器具の近くなど)機器の変形、電子部品の誤作動、故障、劣化などの原因になります。
-  ■ **埃の多い場所に設置しない**  
火災、感電の原因になります。
-  ■ **機器に重いものを置いたり引っ掛けたりしない**  
落下などにより破損やけがの原因となります。
-  ■ **コードを引っ張らない**  
電源プラグやACアダプターを抜くときはコードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
-  ■ **機器の重量などを満たす強度で設置する**  
落下などにより破損やけがの原因となります。
-  ■ **取り付けや配線を行う場合は必ず電源を切る**  
感電の原因となります。

## 免責事項

- 本製品は、盗難防止器具・災害防止器具ではありません。本製品の動作の正常・異常にかかわらず、犯罪・事故が発生した場合の損害については、当社は一切責任を負いません。
- 製品の設置(取り付け・取り外しなど)により生じた建物などへの損傷やその他の損害について、当社は一切責任を負いません。
- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。

## プライバシー、肖像権について

防犯機器の設置や利用は、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権

は、みだりに他人から自らの容貌、姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

必ずお読みください

## 液晶モニターについて

画面の一部にドット抜け（ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点）や、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

画面の焼き付きを防ぐ為、必要に応じて本機のモニターON/OFFボタンでモニター表示をOFFにしてください。

## HDD について

- ・HDDは精密機器です。故障の原因となりますので、振動や衝撃を与えないよう丁寧にお取り扱いください。またホコリ・磁気・高温にも弱いため、通気性の悪い密閉空間等でのご使用はお避けください。
- ・一般的にHDDは消耗品として位置づけられています。使用環境により異なりますが、+25℃の環境下で使用した場合、通電時間が20,000時間を経過すると書き込みエラーが発生しやすくなります。この時間は一般的な時間であり、寿命を保証するものではありません。大切なデータを失わないために、必要なデータ（証拠映像など）は他の記録媒体にバックアップを取っていただくことをお勧めいたします。
- ・録画や再生が出来ない等、HDDに異常が発生した場合は、HDDの交換が必要です。お買い上げの販売店へお持込みいただくか、弊社へご返送いただき修理をご依頼下さい。弊社では出張・訪問での修理サービスは行なっておりませんのであらかじめご了承ください。

## 記録内容に関する免責事項

本機の不具合または外部メディアの不具合・修理など、何らかの原因で本機または接続した外部メディアのデータが破損・消滅した場合の記録内容の保証、それに付随するあらゆる損害について、弊社はいかなる場合においても一切の責任を負いません。


またいかなる場合においても弊社では保存データの修復・復元・複製は致しかねますのであらかじめご了承ください。

## ネットワーク接続について

本機はLANポートを搭載しておりますが、LAN及び、公衆インターネット回線への接続はサポート致しかねます。また、このことに関するお問い合わせには、お答えいたしかねますのであらかじめご了承ください。

## パスワード変更のお願い（第三者アクセス防止のため）

本機はインターネット経由でアクセスできるように設定できます。第三者からの意図しないアクセスによるプライバシーや肖像権の侵害、情報漏えいなどを未然に防止するために、必ずパスワードを変更してください。初期設定adminのパスワード変更後、お忘れになりますとログインができなくなりますので、メモなどに残し第三者に見られないよう保管しておくことをおすすめします。万一お忘れになった場合は、お客様ご自身での解除はできません。本機をお預かりさせて頂いての有料対応となり、お時間も頂くこととなりますのでご注意ください。

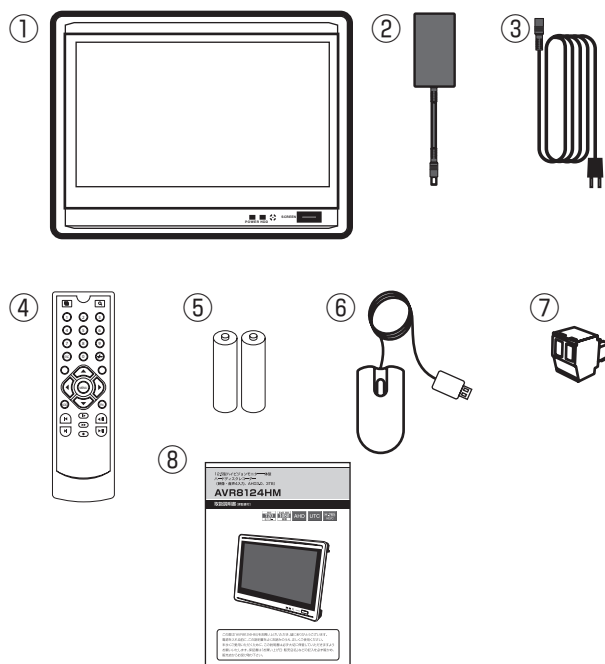
※第三者によるパスワード解除が容易にされないよう、都度解除入力項目が変わりますのでご了承ください。  
※パスワード変更操作について 詳しくは  35

必ずお読みください

## 梱包内容の確認

本機をご使用いただく前に、すべての付属品が入っていることをご確認ください。  
不備な点がございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。

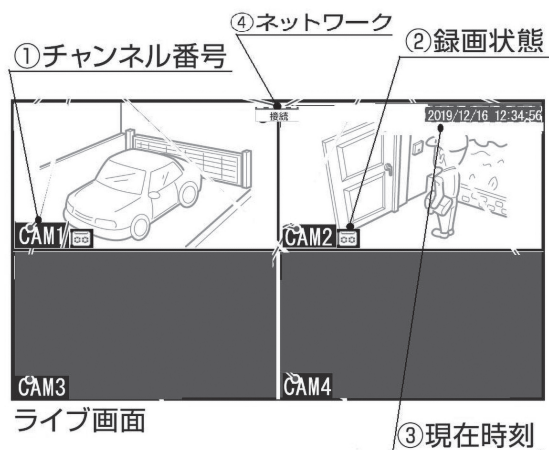
- ① レコーダー本体×1
- ② 電源アダプター (ケーブル長約1.5m) ×1
- ③ 電源アダプターケーブル (約1.5m) ×1
- ④ リモコン×1
- ⑤ 単4乾電池(テスト用)×2
- ⑥ USBマウス×1
- ⑦ RS485用アタッチメント×1  
※パンチルトカメラなどを接続する場合に使用
- ⑧ 取扱説明書(保証書付き)×1



## ライブ画面について

カメラ画面を4分割表示(初期設定)

- ①チャンネル (カメラ) 番号を表示します。
- ②録画状態:  
 録画: ※HDDランプ(緑)点灯  
連続で録画する通常録画時に表示します。  
 モーション検出: ※初期値では機能しません  
映像の変化を検知すると表示します。  
マーク無し  
録画をしていない状態です。
- ③現在時刻: 年-月-日 時:分:秒 曜日
- ④ネットワークの接続状態などを表します。

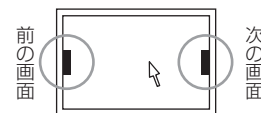


※カメラを接続していない画面や、正しく接続されていない場合は、ブラックアウト表示となります。

4分割画面⇔1画面表示切替え(マウス操作の場合)

ポインタ(マウスカーソル)を置いた画面上でダブルクリックすると、1画面表示と4分割画面表示が切り替わります。

1画面表示中に、ポインタ(マウスカーソル)を画面の端(下図の○)に移動させると『←』または『→』が表示されます。クリックすると、順に前の画面/次の画面にカメラを切り替えます。



カメラ画面自動切替え表示

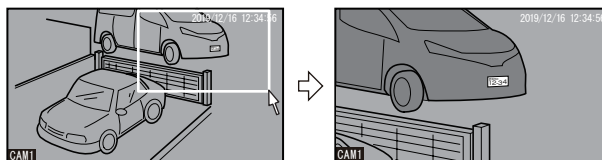
※設定方法は

(ループ表示機能)



指定部分を拡大表示 (マウス操作の場合)

1画面/4画面表示状態で拡大したい部分にポインタ(マウスカーソル)をドラッグします。赤枠□内をクリック(マウスボタンを押す)すると拡大表示します。



拡大画面を終了するには、ダブルクリックすると元の映像に戻ります。

※録画映像には影響しません。

再生画面でも指定部分を拡大表示可能です。

拡大表示は映像処理をおこなうため、機器に負荷がかかります。ドラッグの範囲によっては表示に時間がかかる、画面がゆがむ、指定範囲が拡大されない場合がありますが、不具合ではありません。

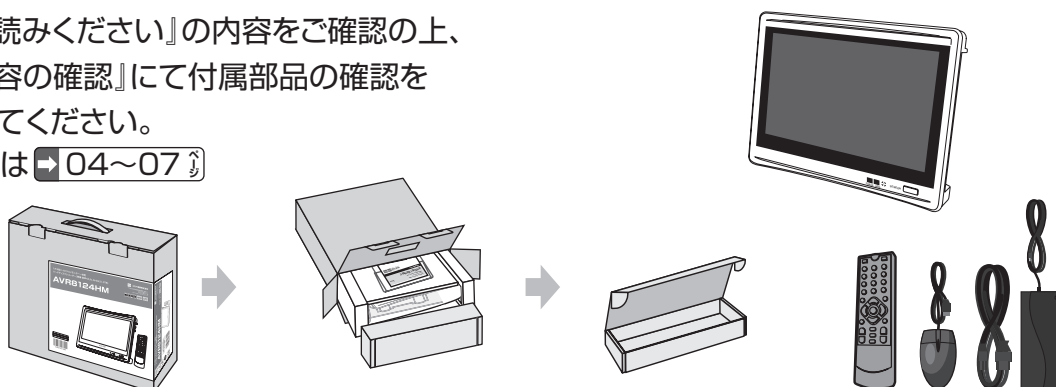
※マウス操作について 詳しくは 9

# はじめる手順

## 手順1 箱をあける

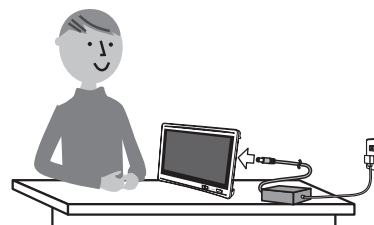
『必ずお読みください』の内容をご確認の上、  
『梱包内容の確認』にて付属部品の確認を  
おこなってください。

※詳しくは▶04~07



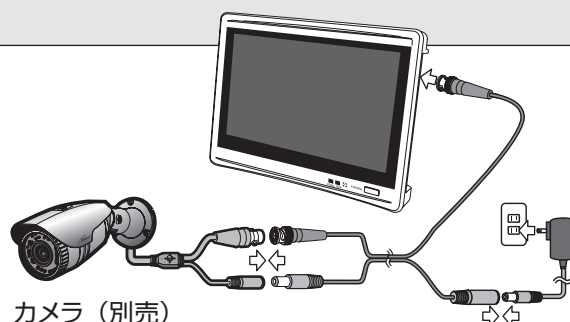
## 手順2 設置する

『お使いになる前に』を参考に機器を安定した  
場所に設置します。



## 手順3 カメラの接続

カメラの映像ケーブル（場合により音声ケーブル）を  
接続し、カメラの電源を入れます。



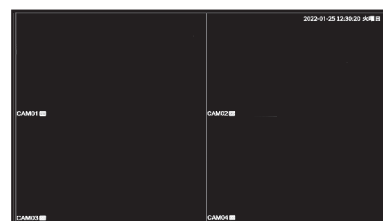
## 手順4 電源を入れる(自動で録画開始)

レコーダーの電源アダプターを  
接続します。

- 1.“ピピッ”と起動音が鳴ります。
- 2.電源表示ランプが赤く点灯します。
- 3.オープニング画面表示後、ライブ画面、ログイン画面が表示されます。



オープニング画面



ライブ画面（カメラ接続前）

スタートアップウィザード → システムログイン  
カメラを認識すると、自動で録画を開始します。

録画中はHDDアクセスランプ(緑)が点灯します。

電源を入れてしばらく反応しない場合がありますが故障ではありません。

10秒~20秒そのままお待ちください。

※映像が映らない場合はカメラ端子の接続や

ACアダプターの接続などをご確認ください。詳しくは▶10



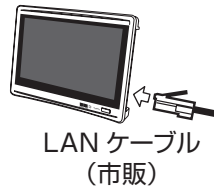
ログイン画面



# はじめる手順(つづき)

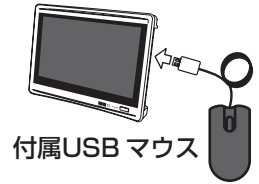
## 手順5 ネットワークケーブルの接続

※ネットワーク機能を使用しない場合は必要ありません。後から設定可能です。



## 手順6 USBマウスの接続

本機にはリモコンが付属しますが、直感的に操作できるUSBマウスのご使用をおすすめします。



## 手順7 『最初の設定』をする

初めて起動する場合や工場出荷時設定時、ファームウェアの更新時の設定です。  
※次回起動時には表示されません。

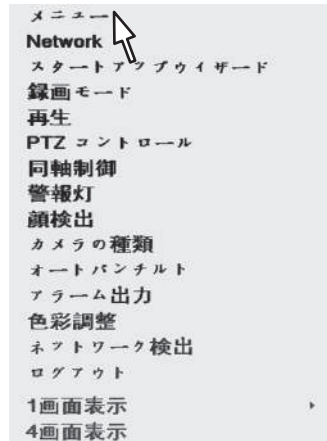
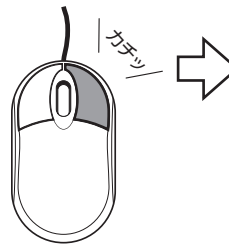
※詳しくは ▶ 12 ↷



## 手順8 設定を変更する

基本設定や録画設定の変更をおこなうには、USBマウスを右クリックでメインメニューを開き、[メニュー]をクリック、設定画面を開きます。

※詳しくは ▶ 14 ↷



## 手順9 録画映像の再生

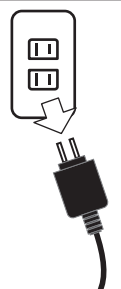
USBマウスを右クリックでメインメニューを開き、[再生]をクリック、再生画面を開きます。

※詳しくは ▶ 16 ↷



## 手順10 本体の電源を切る

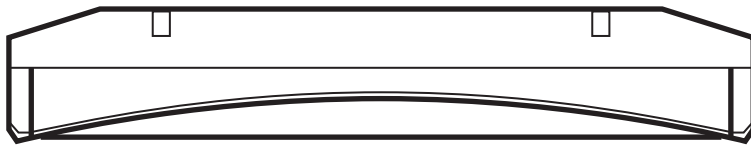
メインスイッチはありません。  
USBマウスを右クリックでメインメニューを開き、[ログアウト]をクリック、[電源OFF]をクリックします。  
『電源をオフにしてください。』の表示後に、電源アダプターのプラグを抜き電源を切ります。



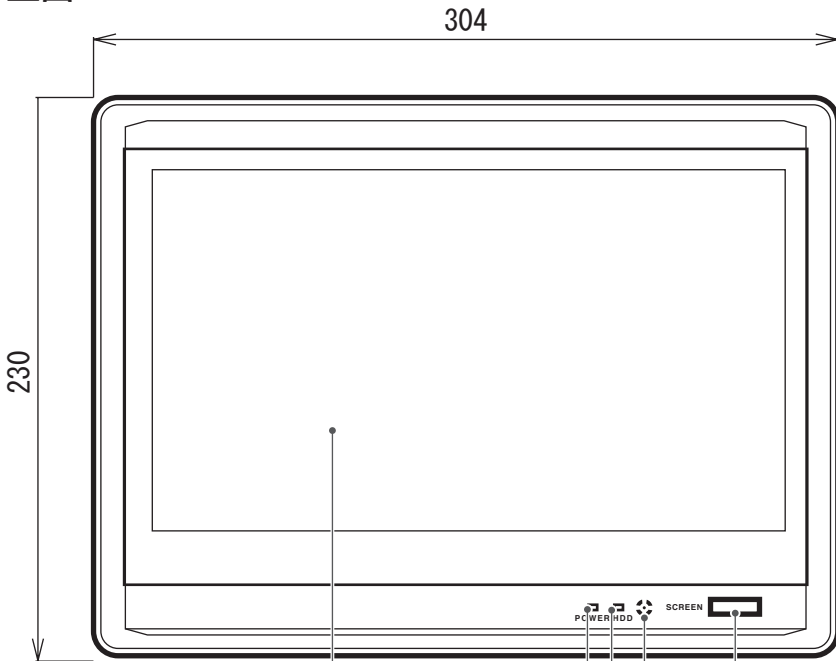
お使いになる前に

# 各部の名称

上面



正面



液晶画面

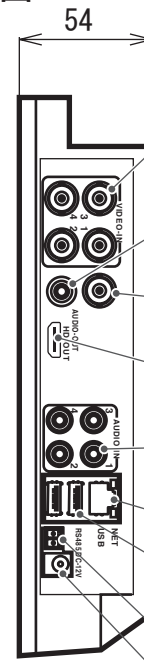
モニターON/OFFボタン

リモコン受光部

HDDアクセス ランプ(緑)

電源表示 ランプ(赤)

側面



映像入力端子  
(BNC×4ch)

音声出力端子  
(RCA×1ch)

映像出力端子  
(BNC)CVBS

映像音声出力端子  
(HDMI)

音声入力端子  
(RCA×4ch)

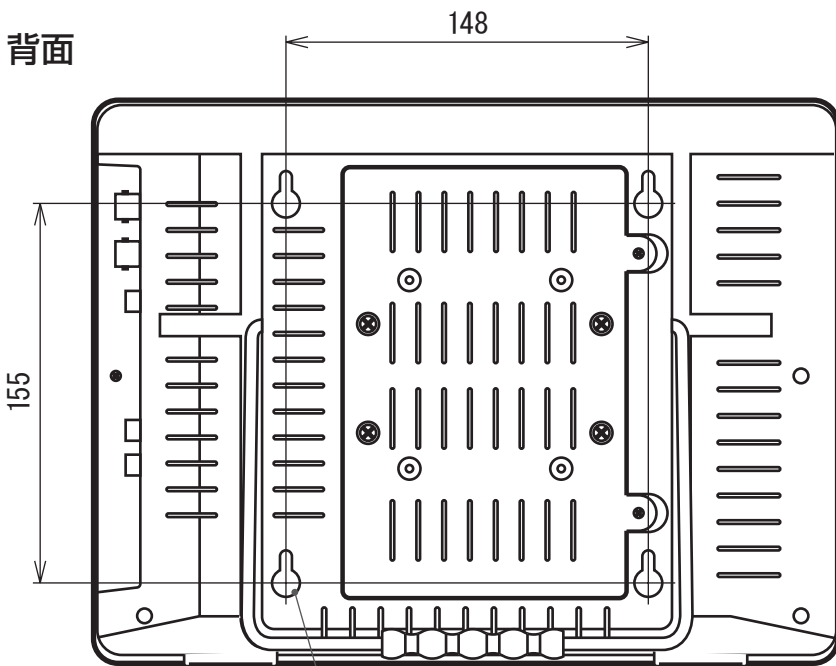
ネットワーク  
接続端子(LAN)

USB接続端子  
(×2)

RS-485端子

電源端子  
(DC12V)

背面

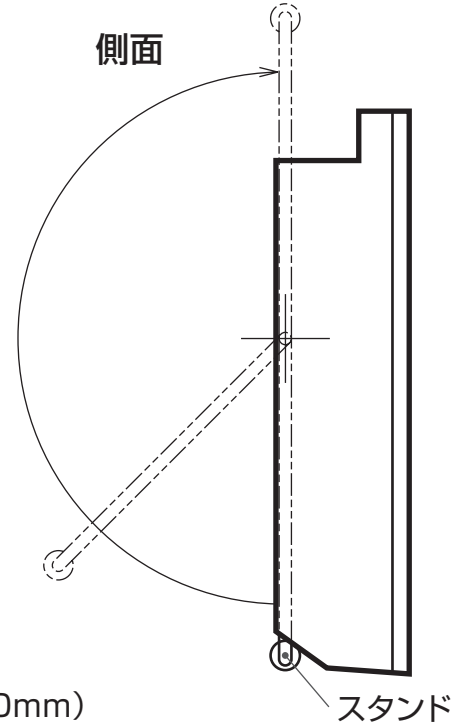


壁掛け用穴(有効ネジ頭径 約6mm~10mm)

※壁掛け用ネジは別途ご用意ください。

VESA規格に対応していません。

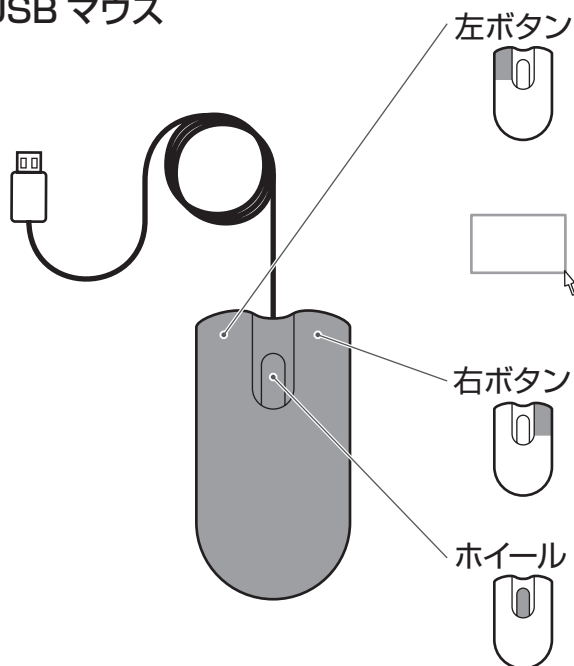
側面



スタンド

# 各部の名称

## USB マウス



左ボタン

左クリックで選択や決定をします。  
※左ボタンを押すことを(左)クリックといいます。

ダブルクリックで画面表示を変更します。  
※左ボタンを続けて2回押すことをダブルクリックといいます。

ドラッグでライブ画面、再生画面で指定部分を拡大表示します。  
※左ボタンを押しながらマウスを動かすことをドラッグといいます。

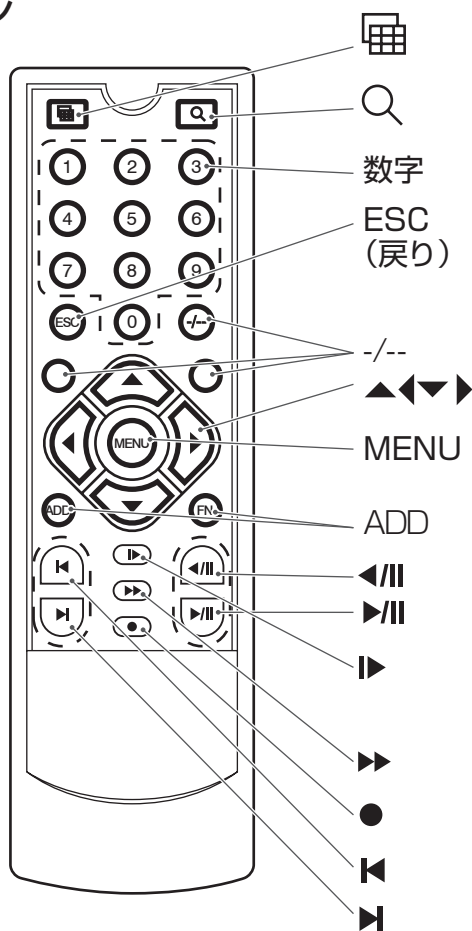
右ボタン

右クリックで操作の取り消しをします。  
メインメニューの呼び出しをします。  
前の操作に戻ります。  
※右ボタンを押すことを右クリックといいます。

ホイール

ホイール操作で設定値の変更をします。  
※ホイールを回転させます(前方向・手前方向)。

## リモコン



1画面/4分割画面を切り替えます。



再生モード画面を表示します。その後はマウスで操作して下さい。  
録画ファイルを検索し再生します。

数字

(ライブ画面)チャンネル選択時に使用します。

ESC  
(戻り)

設定中、1つ前に戻ります。  
ライブ画面で設定メニューを表示します。  
(再生中)再生/停止します。

-/--

使用しないボタンです。



カーソル移動に使用します。

MENU

システム設定画面を表示します。

ADD

使用しないボタンです。FN:使用しないボタンです。



(再生中)逆再生します。



再生画面が表示され再生されます。



(再生中)スロー再生します。



(再生中)早送りします。



(ライブ画面)録画モードを表示します。



(再生中)次の録画ファイルを再生します。



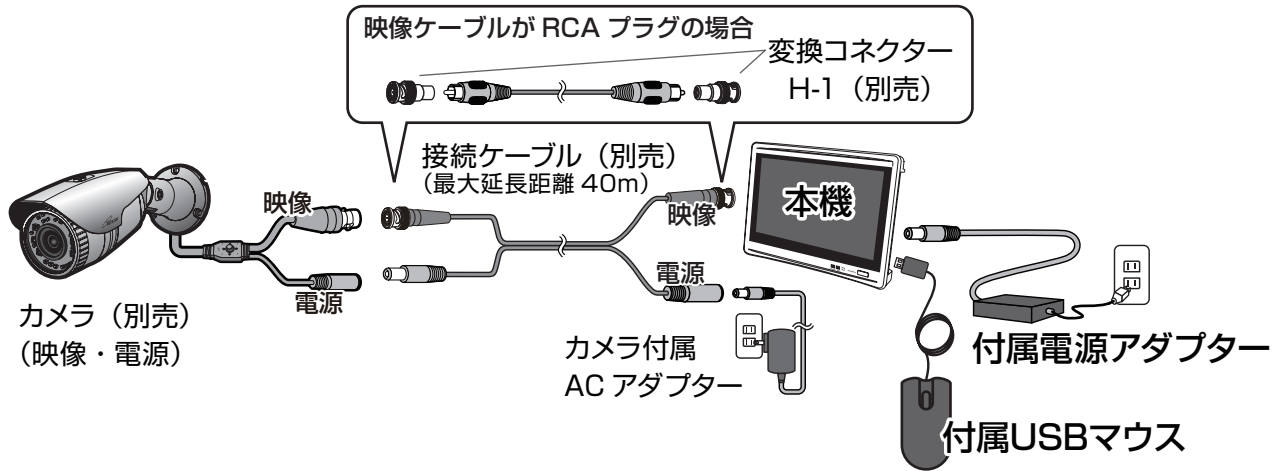
(再生中)一つ前の録画ファイルを再生します。

## 複数台同時にご使用いただく場合

USBマウスでの操作をおすすめします。  
※本機を複数台同時に使用する場合、リモコンと本体の個別設定はできません。

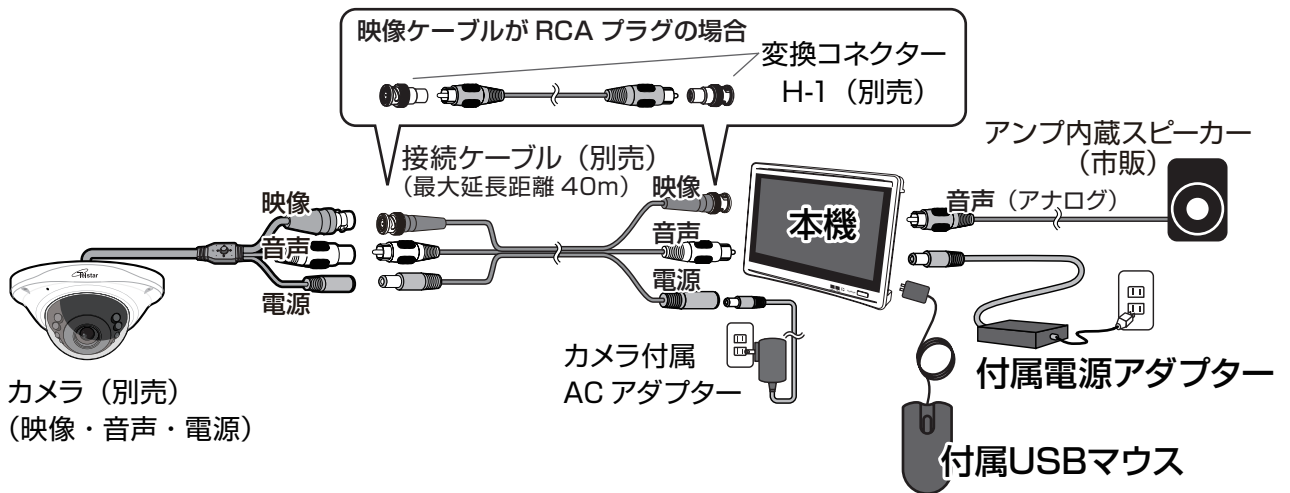
# 接続例

## AHDカメラ、アナログカメラ(CVBS)と接続する場合



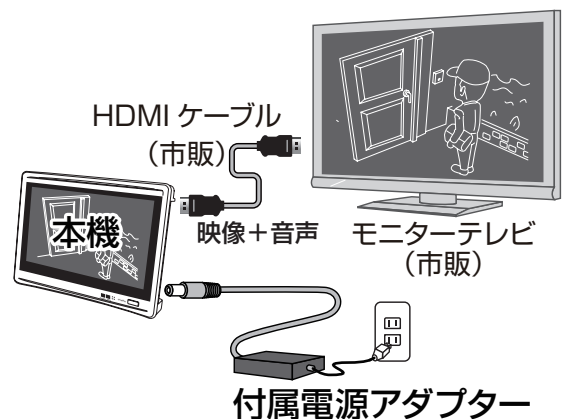
## マイク付きカメラと接続する場合

本機はスピーカーが内蔵されていないため、マイク付きカメラの音声を聞くには音声出力端子 (アナログ) にアンプ内蔵スピーカー (市販) を接続するか、HDMIケーブル (市販) でモニターテレビ (市販) と接続します。\*音声を記録する場合は設定が必要です。\*詳しくは [▶24](#)



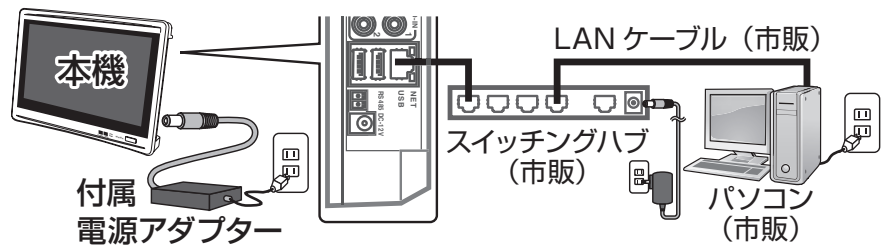
## モニターテレビ(市販)と接続する場合

HDMIケーブル(市販)を使用し、モニターテレビ(市販)と接続します。映像は本機と接続したモニターテレビ(市販)の両方に映ります。モニターテレビ(市販)のスピーカーでマイク付きカメラの音声を聞くことができます。モニターON/OFFボタンで本機の画面のみを消すこともできます。



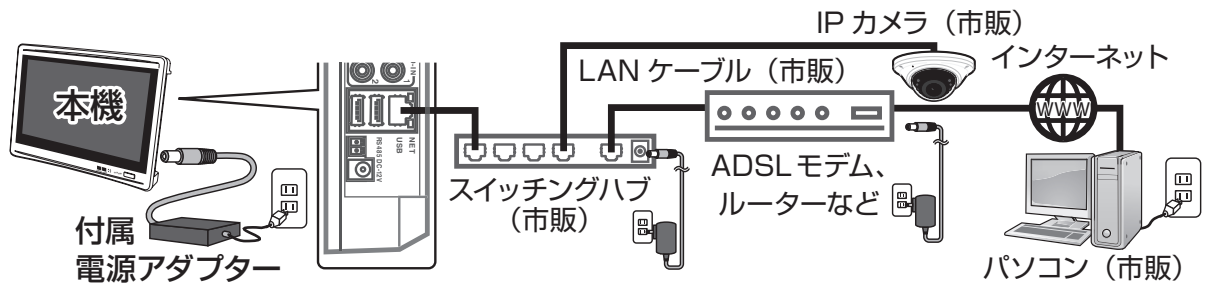
# 接続例(応用編)

## LAN 接続



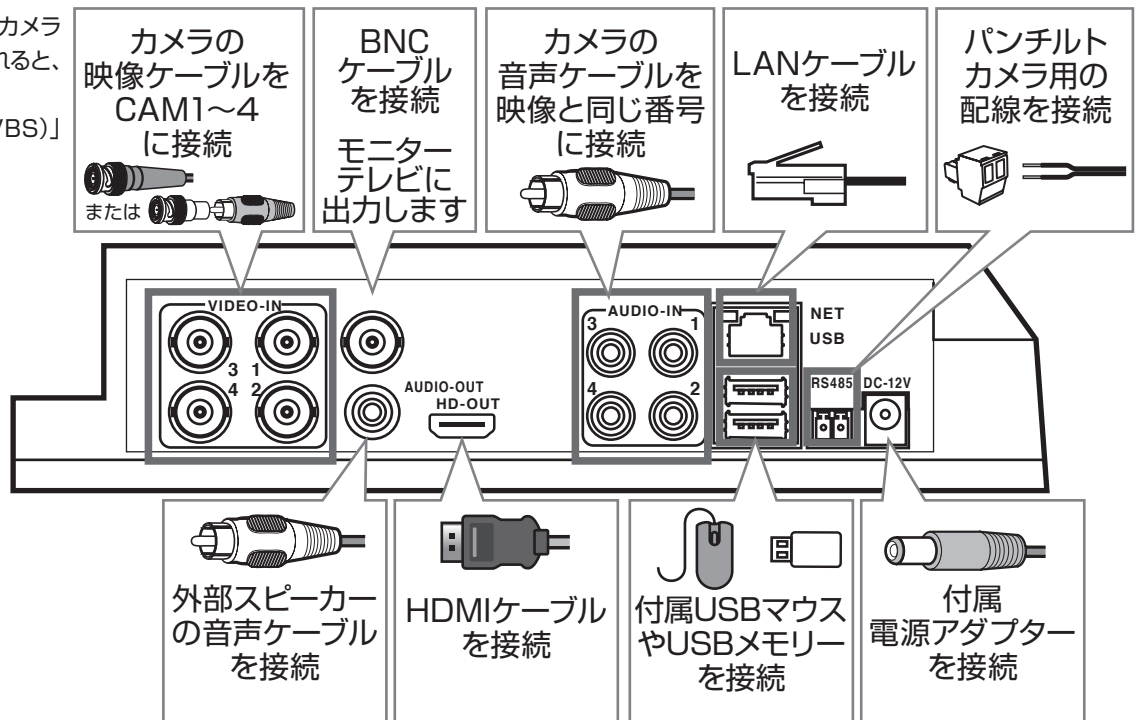
## インターネット接続

ADSL モデム、ルーターなどを使用する場合



# 機器の接続について

※チャンネル1から4にカメラの映像信号が入力されると、「AHDカメラ」や「アナログカメラ(CVBS)」を自動認識します。



※本機はスピーカーが内蔵されていないため、外部スピーカーで音声を聞く場合に接続します。

※映像及び音声をモニターテレビに出力します。

※バックアップする場合にUSBメモリーを接続します。

お使いになる前に

## 最初の設定(スタートアップウィザード)

(初めて起動する場合や工場出荷時設定時、ファームウェアの更新時の設定)

1.

AC アダプターを本体とコンセントに差し込みます。起動画面が表示し、“ピピッ”と起動音が鳴ります。



※パスワード未入力のままログインします。  
パスワードは後で設定できます。

画面に [ブートウィザード] が表示されます。

[次] をクリックして順次画面を進みます。

システムログイン画面ではパスワード未入力のまま [ログイン] をクリックします。

※パスワードや各設定は後で設定できます。

## 2. 基本設定

日付時刻などを設定します。

※詳しくは [▶33](#)

[次] をクリックし、

[ネットワーク] を開きます。

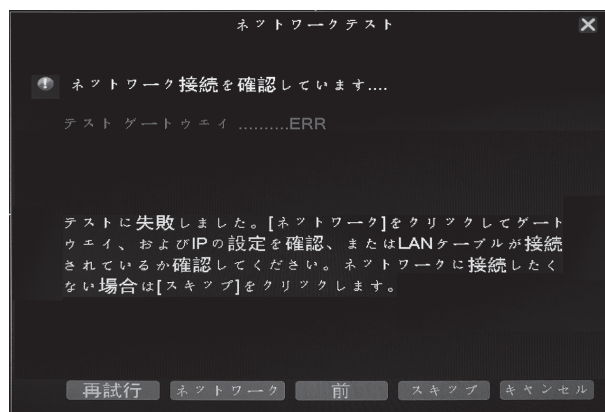


## 3. ネットワーク

ネットワークの接続状態が表示されます。ネットワークに接続しない場合は [次] をクリックします。

自動的に接続状況を診断し、状態を表示します。

※詳しくは [▶44](#)



## 最初の設定(つづき)

---

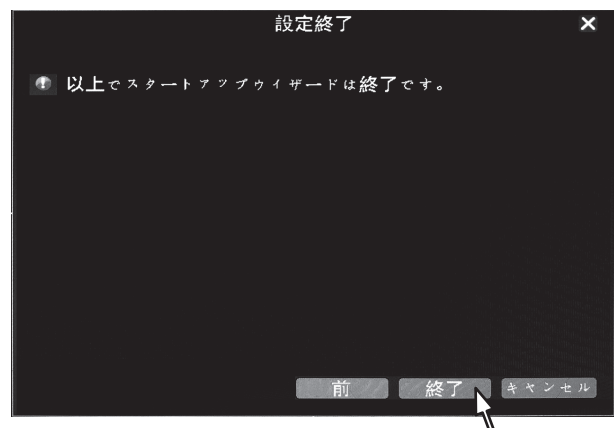
### 5. スマートフォンAPPをインストールする

スマートフォンやPCでカメラの映像を見る場合の設定画面です。初回は設定しません。

[次]をクリックし、[終了]をクリックし設定を終了します。

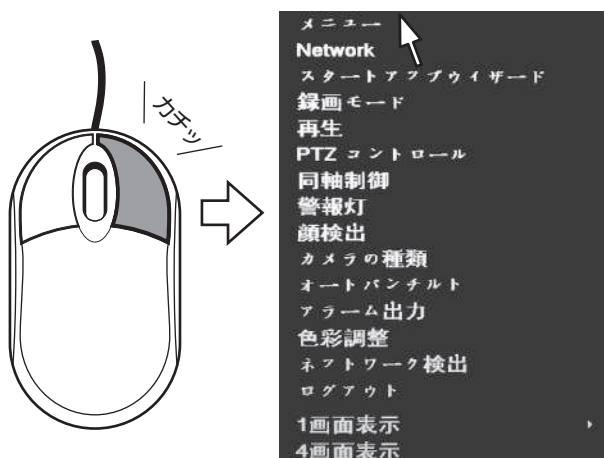


※設定後にもう一度この設定画面を開くには [メインメニュー]>[スタートアップウィザード]をクリックします。



# メインメニューについて

ライブ画面表示時、マウスを右クリックで、メインメニューを表示します。



## [アラーム機能]

[モーション設定]、[映像遮断]、  
[信号ロス]、[アラーム入力]、  
[異常表示]、[アラーム出力]、  
[人型検出]、[顔検出]

## [システム]

[基本設定]、[ハードディスク]、  
[アカウント]、[CAM番号]、  
[ディスプレイ]、[シリアルポート]、  
[Advanced]

## 【機能説明】



## メニュー

[Network] ※詳しくは▶44↑↓

[Phone app]、[ネットワーク]、  
[E-Mail]、[通信サービス]

[チャンネル管理]

[チャンネルモード]

[情報]

[バージョン]、[外部機器]、  
[ハードディスク]、  
[データ転送速度]、[ログ情報]

[録画機能]

[録画画質]、[録画機能]、  
[バックアップ]、[再生]

## Network

本機をネットワークに接続するための設定をおこないます。

ライブ映像や録画データをパソコンやスマートフォンなどから閲覧・操作が可能になります。

※詳しくは▶44↑↓

## スタートアップウイザード

『最初の設定』の設定画面です。

日時の設定や、スマートフォン用アプリのQRコードを表示します。

※詳しくは▶12↑↓

## 録画モード

カメラを接続している画面ごとに「設定録画」、「マニュアル」、「録画しない」の有無を設定します。

## 再生モード

再生画面を表示します。

録画したカメラ映像を再生できます。

※詳しくは▶16↑↓



# メインメニューについて(つづき)

## PTZコントロール

PTZ(パン・チルト・ズーム)機能を持ったカメラにおいて、レンズの向きや画角を調整します。



## 同軸制御

UTCに対応したカメラにおいて、カメラの設定を遠隔に操作できます。  
 ※カメラにより動作しない場合や、設定できない項目があります。

〈メモ〉 コロナ電業製カメラを接続した場合、十字キーボタンと同様の働きをします。



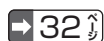
## 警報灯

本機では使用しません。



## 顔検出

本機が“顔”と認識した映像を、ライブ画面右側に表示します。もう一度選択すると通常が表示に戻ります。  
 ※アラーム機能>顔検出 が有効になっていないと動作しません。



## カメラの種類

接続しているカメラの映像信号の規格に合った項目を選択します。

通常は“自動”を選択します。

〈メモ〉 コロナ電業製 TR-H シリーズは“AHD”です。

## オートパンチルト

オートパンチルトに対応したカメラで使用します。

## アラーム出力

本機では使用しません。

## 色彩調整

画面表示の色彩をカメラごとに調整可能です。

## ネットワーク検出

インターネットの信号の状態をグラフで確認できます。

## ログアウト

ログアウト、電源 OFF、再起動の操作をします。

## 1 画面表示

4 分割画面を 1 画面に変更します。

## 4 画面表示

1 画面の表示から 4 画分割面に切り替えます。

# 再生モード

マウスを右クリック→再生を選択します。

## 通常再生

任意のカメラを選択し、再生します。最大 2 つのカメラ映像まで再生できます。

再生画面で早送りや一時停止などを独立して操作できます。



①再生したい CAM 番号を選択します。

クリックするごとに選択 / 非選択となります。2 つまで選択できます。

②再生したい時間帯が決まっていれば、ここで入力します。

③カレンダーから再生したい日付をクリックすると、再生画面に切り替わります。



## 同期再生

2 つの任意のカメラを選択し、再生します。

再生画面で、2 つのカメラ映像を同期させ操作できます。



①再生したい CAM 番号を選択します。

クリックするごとに選択 / 非選択となります。2 つまで選択できます。

②再生したい時間帯が決まっていれば、ここで入力します。

③カレンダーから再生したい日付をクリックすると、再生画面に切り替わります。



※撮影している映像によって動画のファイルサイズが異なるので、各チャンネルの再生速度が異なり若干のズレが発生する場合があります。

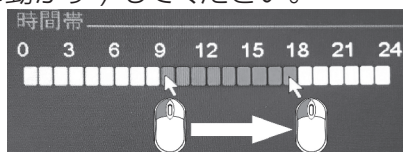
## タイムシェア再生

同じチャンネルの違う時間帯を同時に再生します。



①再生したい CAM 番号を選択します。

②再生したい時間帯を設定します。再生開始時間から終了時間までドラッグ (マウスの左ボタンを押したまま右方向に動かす) してください。



③[OK] をクリックすると、再生画面に切り替わります

※再生したい日にちは、再生画面で変更できます。



# 再生モード

## スマート再生

アラーム機能を設定し検知録画された箇所は通常で再生し、それ以外（検知していない時間帯）は早送りで再生します。



- ①再生したいCAM番号を選択します。
- ②早送りの速度を設定します。(×1～×8)
- ③”すべてのアラーム”にチェックが入っているのを確認し・・・
- ④[OK]をクリックすると、再生画面に切り替わります。  
※再生したい日にちは、再生画面で変更できます。

▶ 18 ↑ ↓

## スマートサーチ

サムネイル（縮小画像）を表示し、検索を容易にします。

アラーム機能を設定し検知録画をしている場合は、検知部分のサムネイルも表示します。



- ①再生したいCAM番号を選択します。
- ②再生したい時間の範囲を入力します。
- ③”すべてのアラーム”にチェックが入っているのを確認し・・・
- ④カレンダーから再生したい日付をクリックすると、再生画面に切り替わります。

▶ 18:21 ↑ ↓

## 顔検索

録画映像から「顔」と認識できる映像をピックアップし、サムネイル（縮小画像）表示をします。



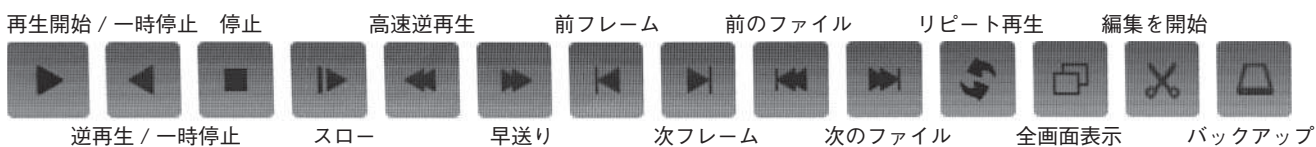
- ①再生したいCAM番号を選択します。
- ②再生したい時間帯が決まっていれば、ここで入力します。
- ③カレンダーから再生したい日付をクリックすると、再生画面に切り替わります。


▶ 18:22 ↑ ↓

# 再生画面



## ①再生操作ボタン



- 再生開始 クリックすると映像を再生します。
- 一時停止 再生中にクリックすると、再生を一時停止します。
- 逆再生 再生中にクリックすると逆再生します。
- 停止 再生中にクリックすると再生を停止します。(全チャンネル)
- スロー 再生中にクリックすると 1/2 の速さで再生します (X2)。  
クリックするたびに 1/4 の速さ (X4)、1/6 の速さ (X6)、1/8 の速さ (X8) となり、再度クリックすると通常の速さで再生します。
- 高速逆再生 再生中にクリックすると 2 倍の速さで逆再生します (X2)。  
クリックするたびに 4 倍の速さ (X4)、6 倍の速さ (X6)、8 倍の速さ (X8) となり、再度クリックすると通常の速さで再生します。
- 早送り 再生中にクリックすると 2 倍の速さで再生します (X2)。  
クリックするたびに 4 倍の速さ (X4)、6 倍の速さ (X6)、8 倍の速さ (X8) となり、再度クリックすると通常の速さで再生します。
- 前フレーム 一時停止中にクリックすると、1 フレーム戻ります。
- 次フレーム 一時停止中にクリックすると、1 フレーム進みます。
- 前のファイル 再生中にクリックすると、1 つ前の録画ファイルを再生します。
- 次のファイル 再生中にクリックすると、次の録画ファイルを再生します。
- リピート再生 タイムラインに表示されたファイルを繰り返して再生します。クリックすると "×" が表示され、繰り返さずに再生を停止します。
- 全画面表示 再生映像が画面いっぱいに表示されます。再度クリックすると元のサイズに戻ります。  
ポインタ (  ) を画面下のほうに下げると再生操作ボタンやタイムラインが現れます。

## 再生画面

編集を開始	バックアップ切り取り開始位置でクリックします。
終点を指定	切り取り終点でクリックします。
バックアップ	クリックするとバックアップ画面が開きます。 USB メモリを本機に挿入した状態で「検出」をクリックします。 “sub1(USB DISK)”が表示されたら「コピー」をクリックします。 →バックアップ形式を再生する機器にあわせて「開始」をクリックします。

### ②タイムライン



0 から 24 の数字は、時刻を表しています。CH1、CH2 は表示しているチャンネルを表しています。横に伸びた帯は、録画ファイルの種類（常時 / アラーム / マニュアル）によって色分けされています。録画されていない時間帯には、帯は表示されません。

再生したい時刻をクリックすると、再生を開始します。通常再生、タイムシェア再生、スマート再生では、2 つのチャンネルを別の時刻で再生することができます。再生中でも時刻を変更することができます。

タイムライン右下のボタンについて



各ボタンをクリックすることで、タイムライン横軸の時刻をさらに細かく表示することができます。

24hr 24 時間で表示します。

2hr 2 時間で表示します。

1hr 1 時間で表示します。

30mi 30 分で表示します。

# 再生画面

## ③再生ファイル選択パネル

→日付・チャンネル選択



### ①HDD/バックアップデバイス

再生する録画ファイルの読み込み先を選択します。通常は HDD (内蔵ハードディスク) を選択してください。USB メモリにバックアップした録画ファイルを再生する場合は、バックアップデバイスを選択してください。

### ②カレンダー

再生したい日付をカレンダーから選択します。再生中の場合は停止させ、日にちをクリックしてください。録画ファイルがある日はグレーで表示されます。

### ③再生モード表示

現在の再生モードを表示します。再生の停止中にクリックすると、再生モード画面を表示し、再生モードを切り替えることができます。

### ④チャンネル選択、検索

見たいチャンネル (CAM 番号) を選択します。再生の停止中にクリックし、選択してください。" 🔍 " をクリックすると、タイムラインに反映されます。

### ⑤選択パネル切り替えボタン

クリックするとファイル検索に切り替わります。

→ファイル選択



### ①録画ファイル時間帯の設定

必要に応じて録画ファイルを表示させる開始時刻、終了時刻を設定し、" 🔍 " をクリックします。

### ②再生ファイル選択

再生したい時刻をダブルクリックすると、再生が開始されます。録画ファイルは常時録画で 60 分 (初期設定) ごとに区切って保存されます。検出録画を設定している場合は、アラームを検知するごとにファイルを作成します。

■時間 = 録画を開始した時間

■録画モード = R: 常時 M: 各種アラーム録画 H: マニュアル録画

### ③ファイル情報

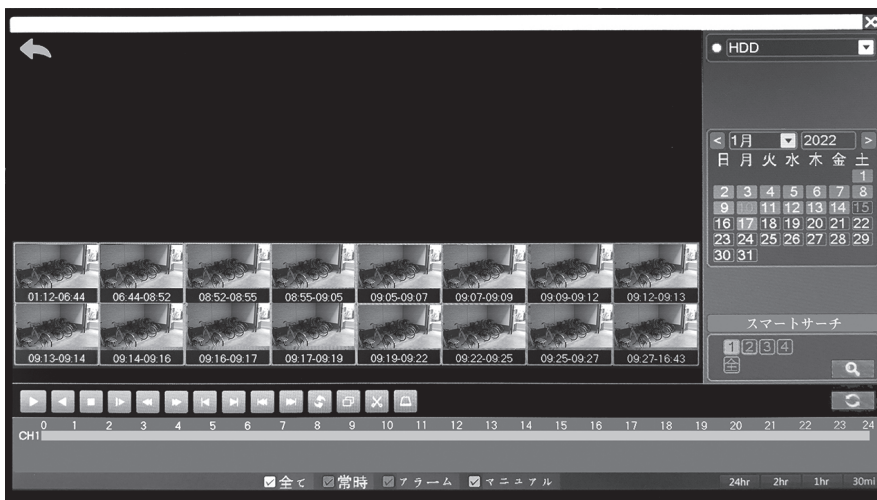
選択したファイルの情報を表示します。

※再生ファイル選択で時刻左の " □ " にチェックすると、 📄 が表示されます。USBメモリへのバックアップが可能です。

### ④選択パネル切り替えボタン

クリックすると日付・チャンネル選択に切り替わります。

## 再生画面(スマートサーチ)




再生モードで指定した時間帯のなかで、検知した部分を中心にサムネイル（縮小画像）が表示されます。見たいサムネイルをクリックすると、再生を開始します。

検知した映像が多い場合、さらに細かく分けたサムネイルが表示されます。

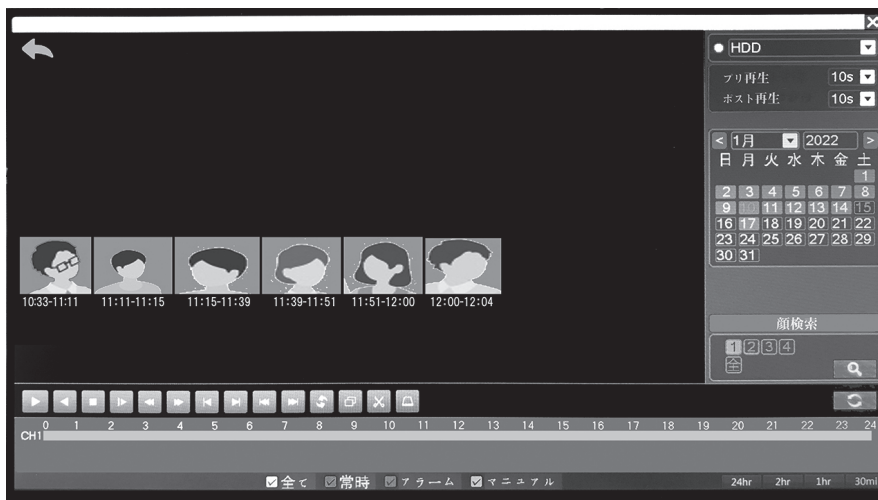


一度に表示できない場合、複数のページに分けて表示します。ページ番号や矢印をクリックして画像を選んでください。

クリックすると、再生を開始します。

画面左上の””をクリックすると、1つ前の画面に戻ります。

## 再生画面(顔検索)



再生モードで指定した時間帯のなかで、検知した部分をおおまかな時間に区切ってサムネイル（縮小画像）が表示されます。見たいサムネイルをクリックすると、時間帯内で検知した顔のサムネイルを表示します。

1度に表示できない場合、複数のページに分けて表示します。ページ番号や矢印をクリックして画像を選んでください。

クリックすると、再生を開始します。

“プリ再生”で、検知からさかのぼって再生する時間を指定できます。

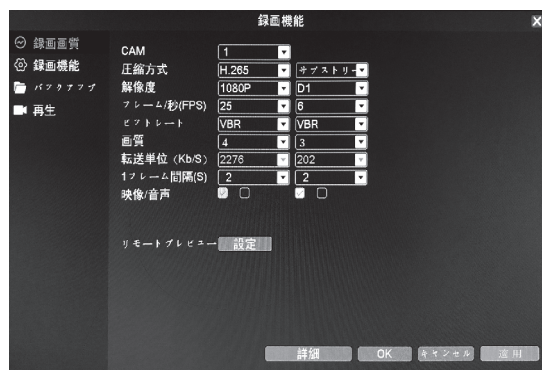
“ポスト再生”で、検知から再生する時間を指定できます。

10s(10秒)～600s(600秒)まで設定できます。

画面左上の””をクリックすると、1つ前の画面に戻ります。



# 録画機能—録画画質



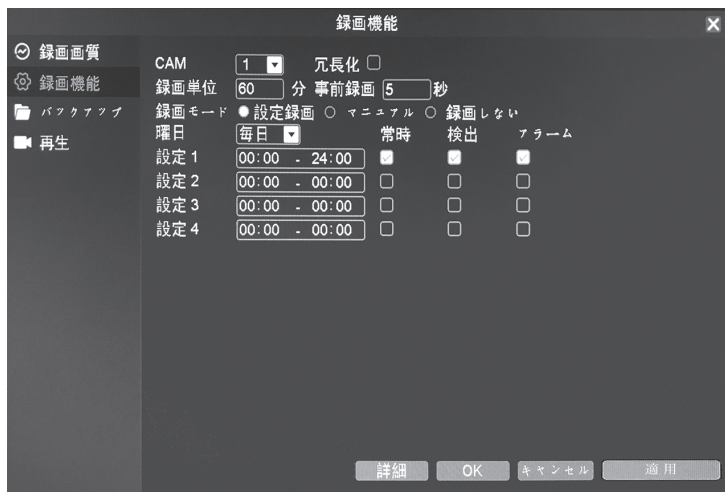
	HDD 用	ネットワーク用
① CAM	設定したいチャンネル番号を選択してください。すべてのチャンネルを同時に設定する場合は「全」を選択します。	
② 圧縮方式	内蔵 HDD に記録する際の動画圧縮方式を選択します。	サブストリーム、ネットワーク監視の圧縮方式です。
③ 解像度 録画解像度を設定します。	接続するカメラにより最高画素数が変わります。	
	HDD 用	ネットワーク用
	5MP (AHD3.0 約 500 万画素) 5M-N/4M-N、3M-N	
	1080P (AHD2.0 約 200 万画素)	
	720P(92 万画素)	
	960H (55 万画素)	
	D1(34 万画素)	D1(34 万画素)
		CIF(10 万画素) サブストリーム
④ フレームレート / 秒 (FPS)	1秒間に記録するコマ数を設定します。数値を小さくするとカクカクした動きの映像になりますが、長時間記録できるようになります。 1～30FPS (D1、960H、720P、3M-N) 1～25FPS (1080P) 1～28FPS (4M-N) 1～15FPS (5M-N)	
⑤ ビットレート	1秒間に処理(送受信)するデータ量をビットレートと呼びます。VBR(可変ビットレート)・・・映像により自動調節するので、HDD 容量を節約できます。容量が同じなら CBR より高画質になります。CBR(固定ビットレート)・・・ビットレートを任意に設定できます。	
⑥ 画質	動画圧縮時に、どの程度の画質を保つかの設定です。数値が大きければ高画質になりますが、データ量が多くなるため録画時間が短くなります。 ※VBR(可変ビットレート)を選択したときに有効になります。	
⑦ 転送単位 (KbS)	CBR(固定ビットレート)を選択した際に、1秒間に処理するデータ量を設定します。数値が大きいくほど高画質になりますが、データ量が多くなるため録画時間が短くなります。	
⑧ 1 フレーム間隔 (s)	キーフレームの間隔を設定します。小さくすると細かな動きに対する再現性が高くなります。大きくすると、ハードディスクの容量が節約できます。1～12の間で調整ができます。	
⑨ 映像 / 音声	映像および音声の記録を有効または無効に設定します。 マイク付カメラなどを接続し、音声を記録する際は“✓”してください。	

# 録画機能—録画機能

本機は、常に録画する“常時”、内蔵センサーを設定し検知したときに録画を開始する“検出”。

録画方法は、あらかじめ設定された曜日や時間によって変更する事ができます。ここでは「いつ・どの録画方法で映像を記録するか」といったスケジュールを設定します。

※アラームは、本機では使用しません。



CAM	チャンネルごとに設定できますので、設定したいチャンネル番号を選択してください。すべてのチャンネルを同時に設定する場合は「全」を選択します。
冗長化	本機では使用しません。
録画単位	録画ファイルの時間の長さを1～120分に設定できます（初期値60分）。録画した映像はここで設定した時間に区切られ、ハードディスクに記録されます。
事前録画	検出前の録画時間をおおよそ1～30秒に設定できます（時間の長さはカメラの解像度や録画画質により変動します）。
録画モード	録画モードを選んでください。
設定録画	曜日・設定1～4で設定したスケジュールに沿って録画をします。
常時	設定した時間帯を録画します。
検出	設定した時間帯に内蔵アラーム（モーション、遮蔽、ビデオロスなど）を検出すると録画を開始します。 (各アラームは“アラーム機能”メニューで設定してください。)
アラーム	使用しません。
マニュアル	設定条件にかかわらず対応するチャンネルで録画をします。
録画しない	設定条件にかかわらず対応するチャンネルの録画をしません。
曜日 設定1～4	各曜日ごとに最大4つの時間帯が設定できます。

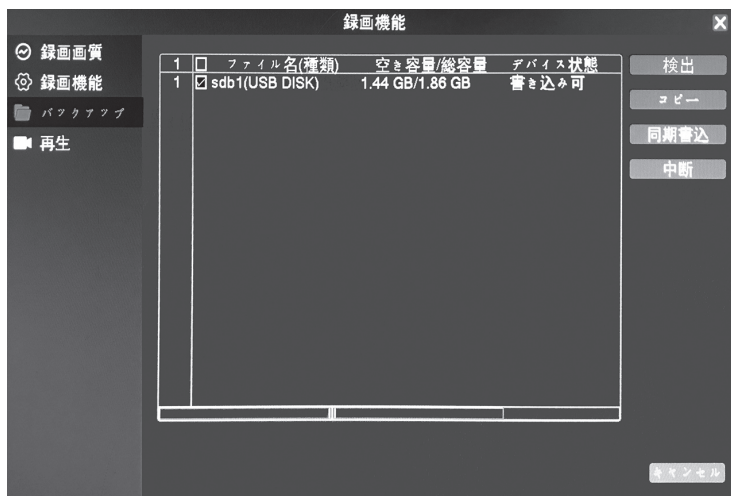
26 ページ～

# 録画機能—バックアップ

ハードディスク内の録画ファイルを USB フラッシュメモリー (128GB 以下) にバックアップできます。

あらかじめ、本機の USB 端子に USB フラッシュメモリーを差し込んでおいてください。

- ① USBを差し検出をクリック
- ② コピーをクリック各種項目を入力  
開始～終了を入力し追加をクリック
- ③ 保存したい映像のCAM番号の□にチェックを入れる
- ④ バックアップ形式を選択する
- ⑤ 開始をクリック



検出	本機に接続されている記憶媒体を検出します。USB端子にUSBメモリーを挿入し、[検出]をクリックしてください。
コピー	バックアップしたいCAM(チャンネル)と時間などを設定し、USBメモリーにコピーする機能です。
同期書込	現在のカメラ映像をUSBメモリーに直接録画する機能です。
中断	バックアップを中断します。



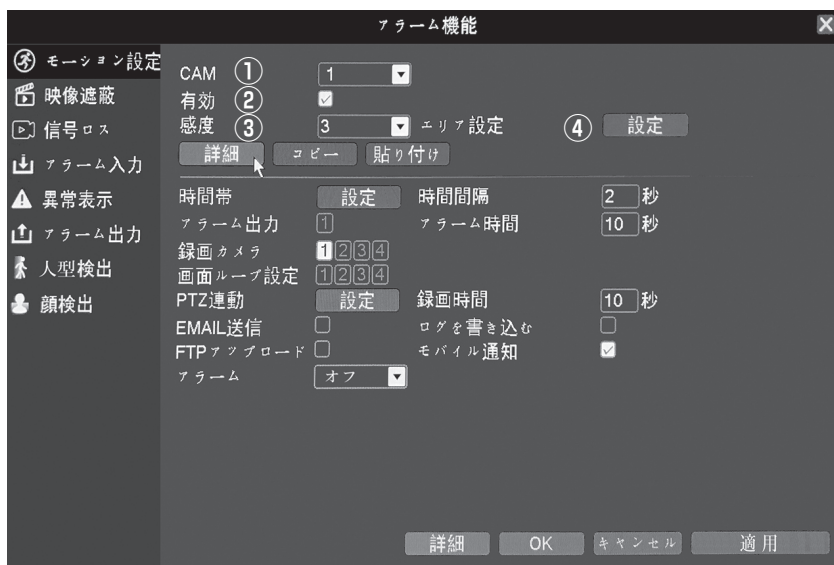
種類	『全録画』、『外部アラーム (使用しません)』、『モーション検知』、『全アラーム』、『自動録画』、『標準録画』より絞り込むことができます。	『HDD』と『静止画』から選択します。静止画は HDD に記録した静止画のみです。
CAM	「1」、「2」、「3」、「4」、「全」から選択します。	
消去	選択欄のファイル情報を消去します	
追加	設定ファイル情報を選択欄に表示します。	
バックアップ形式	バックアップファイルの形式を選択します。 H26X 本機または再生専用ソフトウェアで再生可能なファイル形式でバックアップします。(ダウンロード P60 へ) AVI パソコン上で再生可能なファイル形式です MP4 パソコン上で再生可能なファイル形式です	
開始 / キャンセル	開始] ボタンをクリックするとバックアップを開始し、[キャンセル] ボタンをクリックするとバックアップを停止します。	

# アラーム機能—モーション設定

カメラの映像に動きがあると自動的に検知することを「モーション検知」と呼んでいます。  
ここでは、モーション検知と、検知したときの動作を設定します。

モーション検知の設定  
↑  
↓  
検知したときの動作設定

有効□に“✓”を入れ  
詳細をクリックすると  
⑤以下の詳細の設定が  
できます



① CAM	設定するチャンネルを選択します。「1」、「2」、「3」、「4」、「全」
② 有効	□に“✓”で、モーション検知機能を有効にします。
③ 感度	検知する感度を選択します。1(低感度)～6(高感度)
④ エリア設定	モーション検知エリアの設定画面を表示します。⇒27ページ
⑤ 時間帯	検知したときの動作設定を有効にする時間帯を設定できます。 曜日ごとに最大4つの時間帯を設定できます。⇒27ページ
⑥ 時間間隔	検知したときの動作後、次に動作させるまでの間隔を設定できます。
⑦ アラーム出力	本機では使用しません。
⑧ アラーム時間	本機では使用しません。
⑨ 録画カメラ	検知したときに録画するカメラのチャンネルを選択します。 ※[メニュー]>[録画機能]>[スケジュール]で、選択した各チャンネルの“検出”を“✓”してください。⇒23ページ
⑩ 画面ループ設定	検知したときに全画面表示させることができます。 全画面表示したいチャンネルを選択してください。複数のチャンネルを選択した場合、 [システム]>[Advanced]>[ループ表示]の「アラーム巡回」で設定した間隔でループ表示します。
⑪ PTZ 連動	検知したときのPTZ動作を選択します。 PTZ機能付きのカメラを接続した場合のみ使用します。
⑫ 録画時間	検知したときから録画を停止するまでの時間を設定します。
⑬ EMAIL 送信	本機では使用しません。
⑭ ログを書き込む	検知開始、検知終了のログを記録します。 [メニュー]>[情報]>[ログ情報]で確認ができます。
⑮ FTP アップロード	検知したときのカメラ映像をキャプチャして、静止画を指定されたFTPサーバーにアップロードします。
⑯ モバイル通知	検知したときに、スマートフォンにプッシュ通知をします。 [Network]>[通信サービス]>[モバイル通知]の有効を“✓”しておいてください。 ※スマートフォンに専用アプリをインストールし、プッシュ設定をONにしてください。
⑰ アラーム	内蔵ブザー、音声メッセージ、オフ

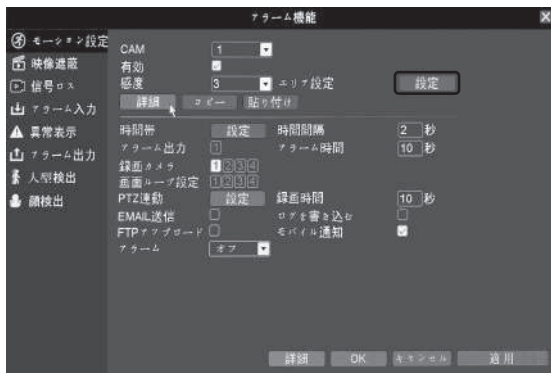
# アラーム機能—モーション設定

## ■エリア設定

カメラで撮影した映像の動きを検知しますので、風で揺れる樹木や敷地外の動きなど希望しないものも検知してしまいます。

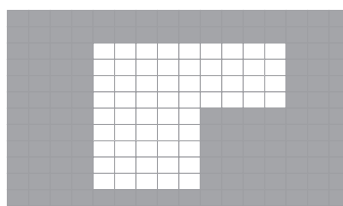
検知するエリアを制限して、無駄な録画をなるべく減らし、検索をやすくしましょう。

モーション設定の画面内のエリア設定[設定]をクリックします。



エリアの設定はマウス操作でおこなってください。初期状態では、すべてのエリアが赤く表示されており、画面全体でモーションの検出が有効になっている状態です。

ここから、検知させたくないエリア(樹木や敷地外など)をクリックし、検知エリアから除外していきます。



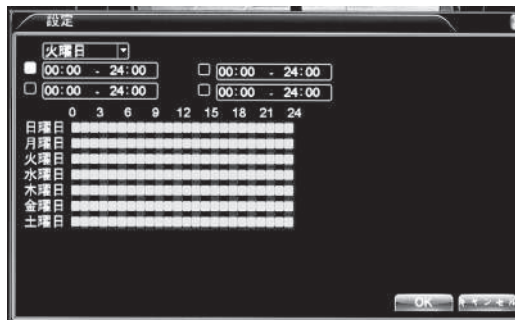
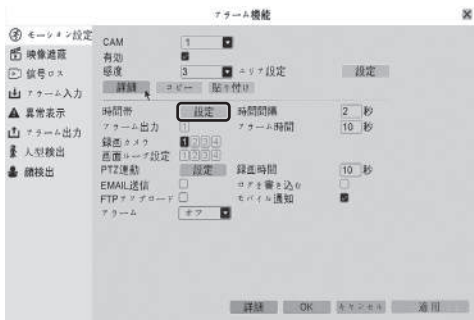
設定した範囲

## ■時間帯

モーション検知後の動作をさせる時間帯を設定します。

1時間単位で設定します。時間帯は曜日ごとに4つまで設定できます。

<注意>「スケジュール」で「検出」を選択していない場合、モーション検知での録画はしません。 ⇒22ページ



## ■PTZ連動

検知したときのPTZカメラの動作を選択します。PTZ機能付きのカメラを接続した場合のみ使用します。

詳しくは、PTZカメラの取り扱い説明書をご覧ください。 PTZ=パン・チルト・ズーム

## ※注意

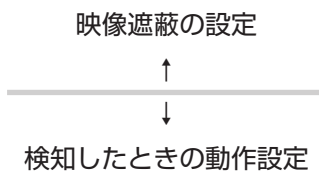
カメラレンズ付近の虫やほこり、雨粒なども検知することがあります。カメラがカラー/白黒モードを切り替えたときや、夜間に自動車のヘッドライトで撮影エリアの明るさが変化した場合など、映像全体に動きがあった場合も検知しますが、故障ではありません。

## <メモ>

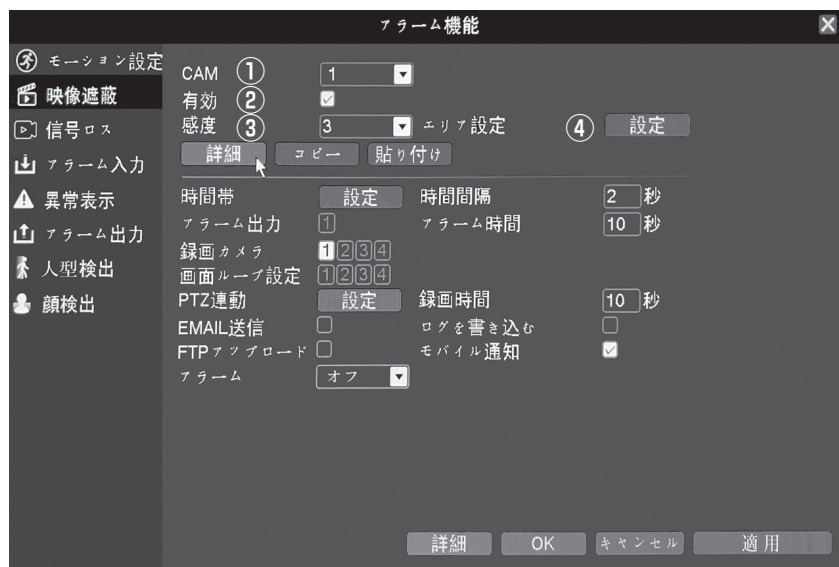
領域設定機能があるのはハイブリッドモード/フルアナログモードの動き検出の場合だけであり、アナログチャンネルでのみ領域を設定できます。

# アラーム機能—映像遮蔽

カメラを何かで覆われたなど、カメラの映像に異常があったときの検知と、検知したときの動作を設定します。



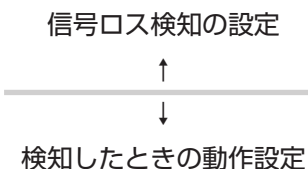
有効□に“✓”を入れ  
詳細をクリックすると  
⑤以下の詳細の設定が  
できます



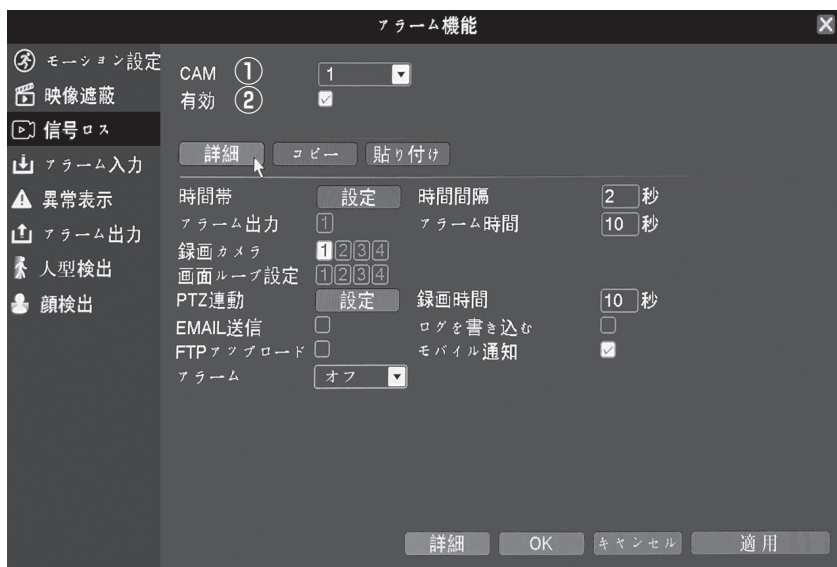
① CAM	設定するチャンネルを選択します。「1」、「2」、「3」、「4」、「全」
② 有効	□に“✓”で、映像遮蔽の検知機能を有効にします。
③ 感度	検知する感度を選択します。1(低感度)～6(高感度)
④ エリア設定	モーション検知エリアの設定画面を表示します。⇒27ページ
⑤ 時間帯	検知したときの動作設定を有効にする時間帯を設定できます。曜日ごとに最大4つの時間帯を設定できます。⇒27ページ
⑥ 時間間隔	検知したときの動作後、次に動作させるまでの間隔を設定できます。
⑦ アラーム出力	本機では使用しません。
⑧ アラーム時間	本機では使用しません。
⑨ 録画カメラ	検知したときに録画するカメラのチャンネルを選択します。※[メニュー]>[録画機能]>[スケジュール]で、選択した各チャンネルの“検出”を“✓”してください。⇒23ページ
⑩ 画面ループ設定	検知したときに全画面表示させることができます。全画面表示したいチャンネルを選択してください。複数のチャンネルを選択した場合、[システム]>[Advanced]>[ループ表示]の「アラーム巡回」で設定した間隔でループ表示します。
⑪ PTZ 連動	検知したときのPTZ動作を選択します。PTZ機能付きのカメラを接続した場合のみ使用します。
⑫ 録画時間	検知したときから録画を停止するまでの時間を設定します。
⑬ EMAIL 送信	本機では使用しません。
⑭ ログを書き込む	検知開始、検知終了のログを記録します。[メニュー]>[情報]>[ログ情報]で確認ができます。
⑮ FTP アップロード	検知したときのカメラ映像をキャプチャして、静止画を指定されたFTPサーバーにアップロードします。
⑯ モバイル通知	検知したときに、スマートフォンにプッシュ通知をします。[Network]>[通信サービス]>[モバイル通知]の有効を“✓”しておいてください。※スマートフォンに専用アプリをインストールし、プッシュ設定をONにしてください。
⑰ アラーム	内蔵ブザー、音声メッセージ、オフ

# アラーム機能—信号ロス

カメラの故障やケーブルの断線などでカメラの映像が遮断されたときの検知と、検知したときの動作を設定します。



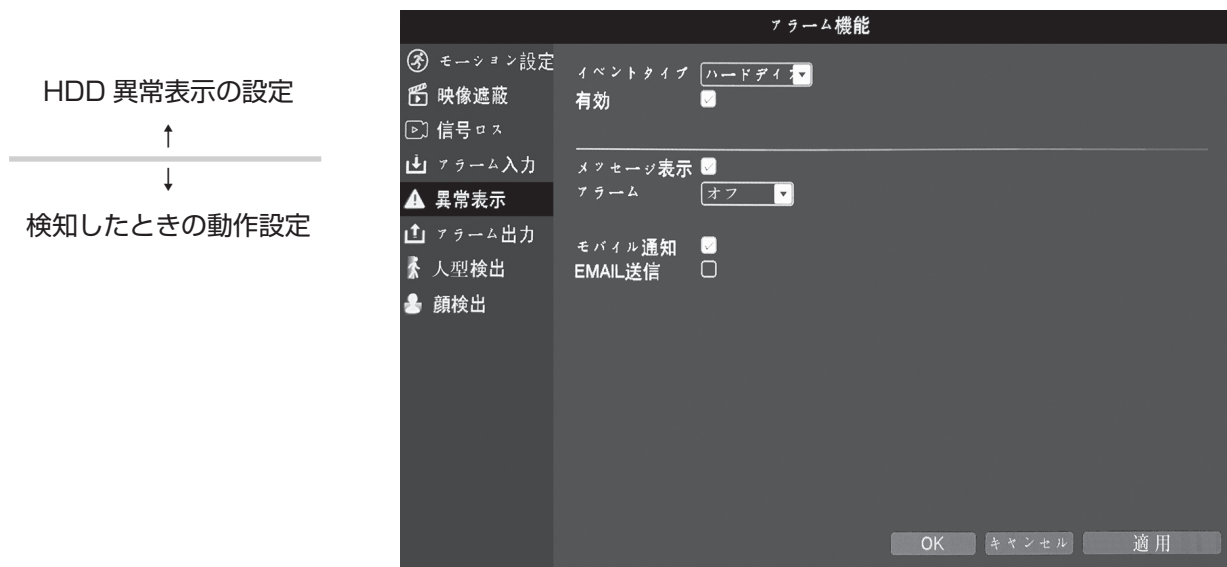
有効  に “✓” を入れ  
詳細をクリックすると  
③以下の詳細の設定が  
できます



① CAM	設定するチャンネルを選択します。「1」、「2」、「3」、「4」、「全」
② 有効	<input type="checkbox"/> に “✓” で、信号ロスの検知機能を有効にします。
③ 時間帯	検知したときの動作設定を有効にする時間帯を設定できます。曜日ごとに最大 4 つの時間帯を設定できます。⇒27 ページ
④ 時間間隔	検知したときの動作後、次に動作させるまでの間隔を設定できます。
⑤ アラーム出力	本機では使用しません。
⑥ アラーム時間	本機では使用しません。
⑦ 録画カメラ	検知したときに録画するカメラのチャンネルを選択します。 ※[メニュー]>[録画機能]>[スケジュール] で、選択した各チャンネルの“検出”を“✓”してください。⇒23 ページ
⑧ 画面ループ設定	検知したときに全画面表示させることができます。全画面表示したいチャンネルを選択してください。複数のチャンネルを選択した場合、[システム]>[Advanced]>[ループ表示]の「アラーム巡回」で設定した間隔でループ表示します。
⑨ PTZ 連動	検知したときの PTZ 動作を選択します。PTZ 機能付きのカメラを接続した場合のみ使用します。
⑩ 録画時間	検知したときから録画を停止するまでの時間を設定します。
⑪ EMAIL 送信	本機では使用しません。
⑫ ログを書き込む	検知開始、検知終了のログを記録します。[メニュー]>[情報]>[ログ情報]で確認ができます。
⑬ FTP アップロード	検知したときのカメラ映像をキャプチャして、静止画を指定された FTP サーバーにアップロードします。
⑭ モバイル通知	検知したときに、スマートフォンにプッシュ通知をします。[Network]>[通信サービス]>[モバイル通知]の有効を“✓”しておいてください。 ※スマートフォンに専用アプリをインストールし、プッシュ設定を ON にしてください。
⑮ アラーム	内蔵ブザー、音声メッセージ、オフ

# アラーム機能—異常表示

内蔵ハードディスク (HDD) に異常が検出された場合にアラームを発生します。  
一部 HDD 以外の異常も対象に含まれます。



HDD 異常表示の設定



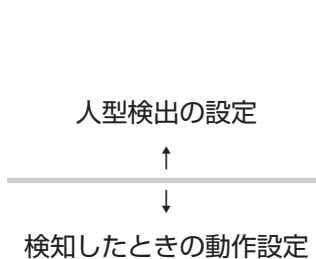
検知したときの動作設定

① イベントタイプ	※イベント別に動作を設定できます。	
	ハードディスク無し	ハードディスクが認識されていません。
	保存デバイスエラー	ハードディスクに何らかの不具合が発生しています。 ※この異常が検知された場合、自動で再起動します。
	ハードディスク 容量不足	記録中、ハードディスクの容量が足りなくなりました。
	ネット切断イベント	ネットワークが切断されました。
	IP 重複	本機に割り当てられている IP アドレスが同じ LAN にある他の機器の IP アドレスと重複しています。
② 有効	下記項目の動作を有効にする場合、□に“✓”します。	
③ メッセージ表示	メイン画面に「アラーム信号の警告」を表示する場合は、□に“✓”します。	
④ アラーム	内蔵ブザー、音声メッセージ、オフ	
⑤ モバイル通知	検知したときに、スマートフォンにプッシュ通知をします。 [Network]>[通信サービス]>[モバイル通知]の有効を“✓”しておいてください。 ※スマートフォンに専用アプリをインストールし、プッシュ設定を ON にしてください。	
⑥ EMAIL 送信	本機では使用しません。	

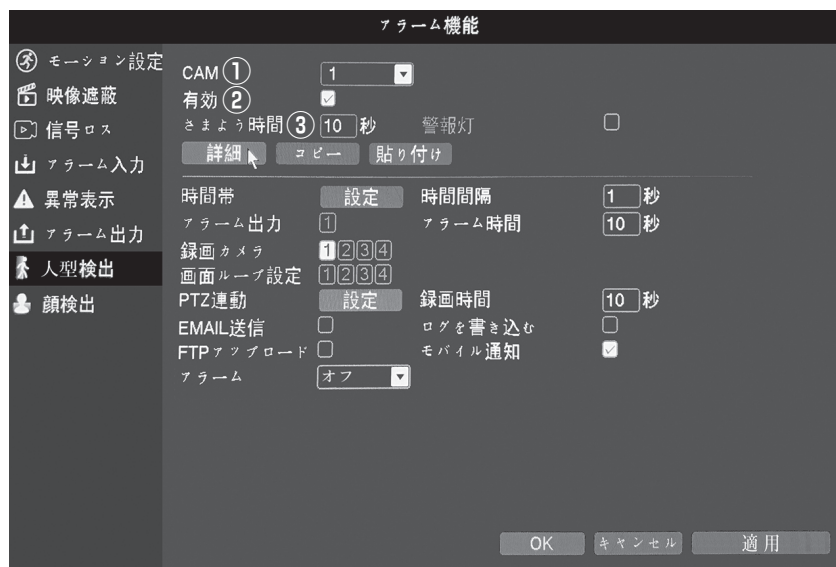


# アラーム機能—人型検出

人型検出とは、設定された一定の時間での動きを人と検知した際に作動する機能。



有効□に“✓”を入れ  
詳細をクリックすると  
⑤以下の詳細の設定が  
できます



① CAM	設定するチャンネルを選択します。「1」、「2」、「3」、「4」、「全」
② 有効	□に“✓”で、人型検出の検知機能を有効にします。
③ さまよう時間	設定された時間は人を検知してもアラームを出しません。
④ 警報灯	この機能は使用しません。
⑤ 時間帯	検知したときの動作設定を有効にする時間帯を設定できます。 曜日ごとに最大4つの時間帯を設定できます。⇒27ページ
⑥ 時間間隔	検知したときの動作後、次に動作させるまでの間隔を設定できます。
⑦ アラーム出力	本機では使用しません。
⑧ アラーム時間	本機では使用しません。
⑨ 録画カメラ	検知したときに録画するカメラのチャンネルを選択します。 ※[メニュー]>[録画機能]>[スケジュール]で、選択した各チャンネルの“検出”を“✓”してください。⇒23ページ
⑩ 画面ループ設定	検知したときに全画面表示させることができます。 全画面表示したいチャンネルを選択してください。複数のチャンネルを選択した場合、 [システム]>[Advanced]>[ループ表示]の「アラーム巡回」で設定した間隔でループ表示します。
⑪ PTZ 連動	検知したときのPTZ動作を選択します。 PTZ機能付きのカメラを接続した場合のみ使用します。
⑫ 録画時間	検知したときから録画を停止するまでの時間を設定します。
⑬ EMAIL 送信	本機では使用しません。
⑭ ログを書き込む	検知開始、検知終了のログを記録します。 [メニュー]>[情報]>[ログ情報]で確認ができます。
⑮ FTP アップロード	検知したときのカメラ映像をキャプチャして、静止画を指定されたFTPサーバーにアップロードします。
⑯ モバイル通知	検知したときに、スマートフォンにプッシュ通知をします。 [Network]>[通信サービス]>[モバイル通知]の有効を“✓”しておいてください。 ※スマートフォンに専用アプリをインストールし、プッシュ設定をONにしてください。
⑰ アラーム	内蔵ブザー、音声メッセージ、オフ

# アラーム機能—顔検出

録画をしながら人の顔を検出し、再生の時のインデックスとして記録できる機能です。  
サムネイルから再生点を検索できます。



顔検出の設定

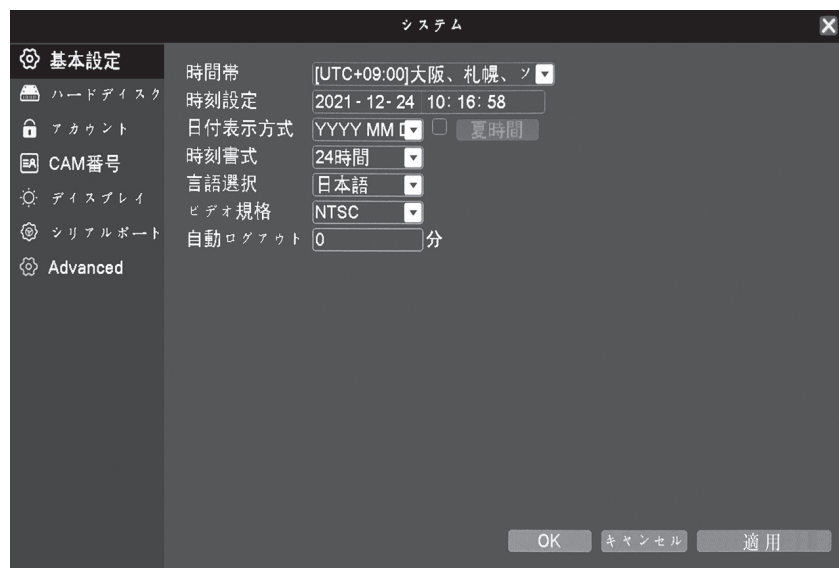


検知したときの動作設定

① CAM	設定するチャンネルを選択します。「1」、「2」、「3」、「4」、「全」
② 有効	<input type="checkbox"/> に“✓”で、顔検出の検知機能を有効にします。
③ 時間帯	検知したときの動作設定を有効にする時間帯を設定できます。 曜日ごとに最大4つの時間帯を設定できます。⇒27ページ
④ 時間間隔	検知したときの動作後、次に動作させるまでの間隔を設定できます。
⑤ アラーム出力	本機では使用しません。
⑥ アラーム時間	本機では使用しません。
⑦ 録画カメラ	検知したときに録画するカメラのチャンネルを選択します。 ※[メニュー]>[録画機能]>[スケジュール]で、選択した各チャンネルの“検出”を“✓”してください。⇒23ページ
⑧ 画面ループ設定	検知したときに全画面表示させることができます。 全画面表示したいチャンネルを選択してください。複数のチャンネルを選択した場合、 [システム]>[Advanced]>[ループ表示]の「アラーム巡回」で設定した間隔でループ表示します。
⑨ PTZ 連動	検知したときのPTZ動作を選択します。 PTZ機能付きのカメラを接続した場合のみ使用します。
⑩ 録画時間	検知したときから録画を停止するまでの時間を設定します。
⑪ EMAIL 送信	本機では使用しません。
⑫ ログを書き込む	検知開始、検知終了のログを記録します。 [メニュー]>[情報]>[ログ情報]で確認ができます。
⑬ FTP アップロード	検知したときのカメラ映像をキャプチャして、静止画を指定されたFTPサーバーにアップロードします。
⑭ モバイル通知	検知したときに、スマートフォンにプッシュ通知をします。 [Network]>[通信サービス]>[モバイル通知]の有効を“✓”しておいてください。 ※スマートフォンに専用アプリをインストールし、プッシュ設定をONにしてください。
⑮ アラーム	内蔵ブザー、音声メッセージ、オフ

# システムー基本設定

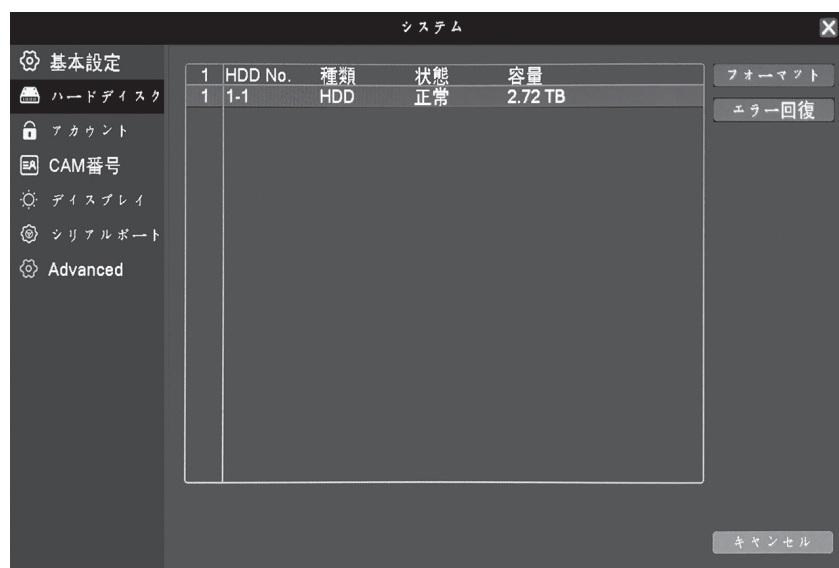
時刻、言語などの設定をおこないます。



① 時間帯	ご使用になる地域を選択します。日本国内で使用する場合は、“[UTC+09:00] 大阪、札幌、ソウル、東京” を選択してください。
② 時刻設定	年 - 月 - 日 時 : 分 : 秒を設定します。変更後、[OK] をクリックしたときに時刻が確定します。 ※録画データに記録される時刻をより正確にするために、定期的に時刻をあわせることをおすすめします。 <メモ> インターネットに接続すれば、自動で時刻を調整できます。(NTP サーバーを利用可能です)⇒46 ページ
③ 日付表示方式	日付の表示方式を選択します。 YYYY MM DD ⇒年 - 月 - 日 (例)2019 - 12 - 31 MM DD YYYY ⇒月 - 日 - 年 (例)12 - 31 - 2019 DD MM YYYY ⇒日 - 月 - 年 (例)31 - 12 - 2019
④ 夏時間	サマータイムの開始・終了の日 / 週 / 時を設定します。
⑤ 時刻書式	24 時間制、12 時間制が選択できます。
⑥ 言語選択	本機の表示言語を選択できます。
⑦ ビデオ規格	NTSC を選択してください。
⑧ 自動ログアウト	本機にログインし操作をしたあと、一定時間が経過したら自動でログアウトする設定をします。ログアウトをし忘れたときに、管理者以外の者が操作しないよう自動で防ぐ設定です。 ※0分で、自動ログアウトをしない設定になります。

# システムーハードディスク

ハードディスクの管理をおこないます。メニューには現在のハードディスクの情報が表示されます。



フォーマット

ディスクのフォーマットを行います。記録された内容はすべて消去されます。

エラー回復

ディスク上のエラーを修復します。内容により回復できない場合があります。

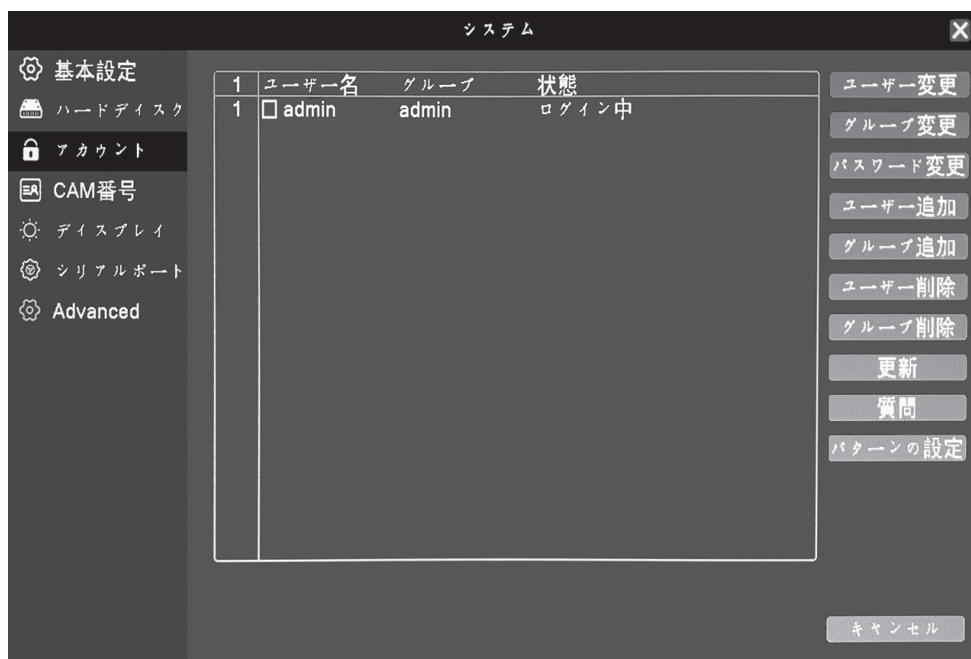
# システムアカウント

本機を操作できるユーザーを設定します。

工場出荷時では、「admin(管理者)」というグループに属した「admin」というユーザー名が登録されており、再生や設定の変更など全ての操作ができる権限が与えられています。工場出荷時にはパスワードは設定されていません。パスワードを設定する事により、他人が本機を勝手に操作する事を防ぐことができます。

また、あらかじめ「user」というグループが作成されており、ライブ画像と再生画面しか見られない設定になっています。ここにユーザーを登録しログインすると、各設定は変更できないけど再生はできる、といったことができるようになります。

グループごとに、できること・できないことを設定できます。



① ユーザー変更	既存のユーザーの属性を変更できます。
② グループ変更	既存のグループの属性を変更できます。
③ パスワード変更	ユーザーのパスワードを変更できます。16文字までのパスワードが設定できます。文字列の前後のスペースは無効です。文字列の中間にあるスペースは有効です。 ユーザー操作権限を有するユーザーは、自身や他のユーザーのパスワードを変更できます。
④ ユーザー追加	ユーザーを追加します。
⑤ グループ追加	グループを追加します。
⑥ ユーザー削除	ユーザーを削除します。
⑦ グループ削除	グループを削除します。
⑧ 更新	設定を更新します。
⑨ 質問	あらかじめ質問と回答を入力しておけば、パスワードを忘れた時などにパスワードをリセットすることができます。
⑩ パターンの設定	パスワード入力に代えてパターン入力でのログインします。マウスを用いて解除パターンを入力して下さい。

## システム—アカウント2

### ③パスワード変更

ユーザーのパスワードを変更できます。  
16文字までのパスワードが設定できます。  
文字列の前後のスペースは無効です。  
文字列の中間にあるスペースは有効です。



### パスワードの入力方法

1. ポインタを「パスワード」の欄に重ね、マウスの左ボタンをクリックすると、文字入力画面が表示されます。
2. 文字を選択する場合もマウスの左ボタンをクリックします。予め決めておいた文字を入力します。入力したパスワードは、必ず控えて大切に保管してください。
3. 入力を終わったら、「Enter(エンター)」を左ボタンでクリックします。

システムのセキュリティを確保するため、初回のログイン後に自分のパスワードを変更してください。



※パスワードを5回続けて間違えると、ブザーが鳴り、30分間アカウントがロックされます。

※パスワードを忘れないようにご注意ください。パスワードの解除は有償となります。

### ④ユーザー追加

ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザーのグループもここで選択します。

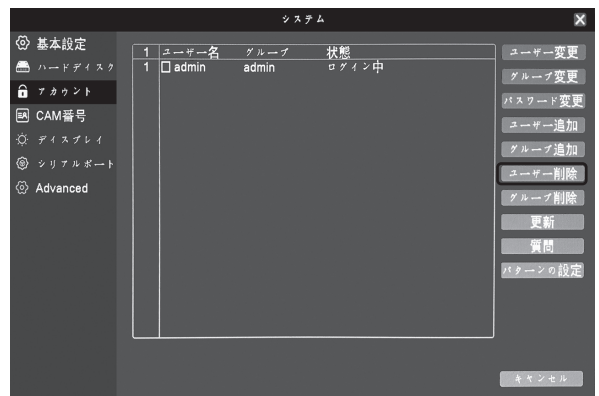
### ⑤グループ追加

グループを追加し、そのグループの権限を設定します。機器のシャットダウン、リアルタイム監視、再生、録画の設定、映像のバックアップなど34種類の権限があります。

# システムアカウント3

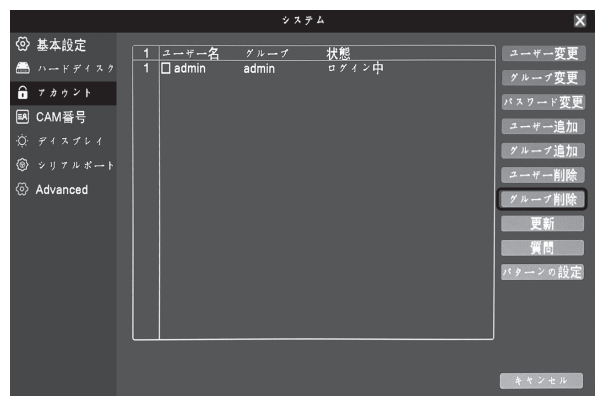
## ⑥ユーザー削除

現在のユーザーを削除できます。  
ユーザーのチェックボックス□に“✓”し、[ユーザー削除] ボタンをクリックします。



## ⑦グループ削除

現在のグループを削除できます。グループを選択して [グループ削除] ボタンをクリックします。



## ⑧更新

現在のグループを削除できます。  
グループを選択して [グループ削除] ボタンをクリックします。

## ⑨質問

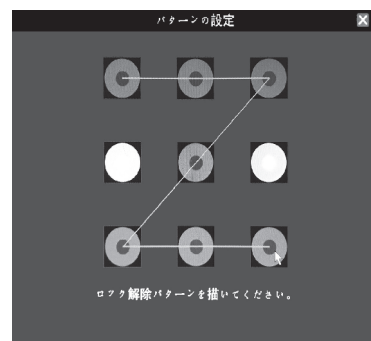
パスワードを忘れてしまった時など、パスワードをリセットするために、自分しか知らない質問と回答をあらかじめ登録しておきましょう。  
安全性の向上のため、質問は2つ登録できます。

質問を選択してください。

あなたの携帯電話番号の最後の5桁は何ですか？  
よく使うメールアカウントは何ですか？  
あなたの Facebook アカウントは何ですか？  
あなたの G Mail アカウントは何ですか？  
あなたの誕生日はいつですか？（例えば 0000/00/00）  
あなたのお母さんの誕生日はいつですか？（例 02/1953）

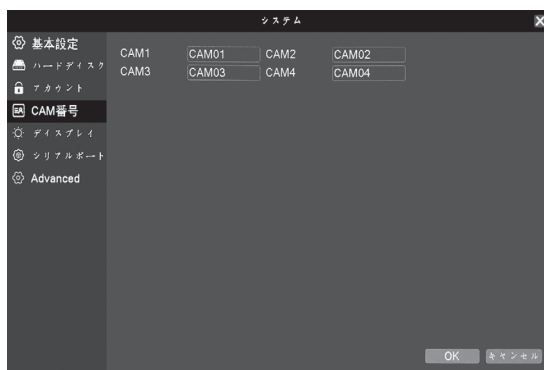
## ⑩パターンの設定

パスワードに代えてパターン入力でログインできます。  
マウスを用いて解除パターンを入力して下さい。



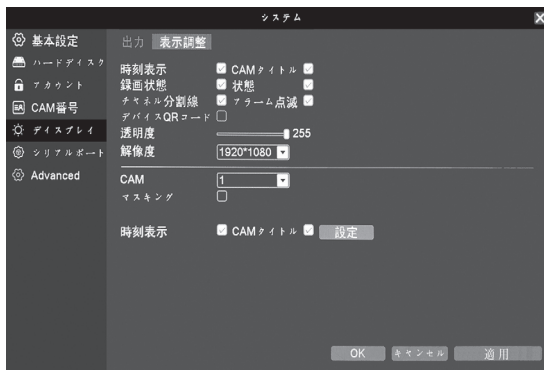
# システム-CAM番号、ディスプレイ



画面表示に関する設定、録画映像上の表示設定を行います。



**CAM番号** ライブ画面に表示するチャンネル名(CAM1～CAM4)を変更できます。  
[設定]をクリックすると、設定画面が表示されます。変更したいチャンネル名をクリックし、マウスで入力してください。  
アルファベットと数字と30種類の記号の文字が使用できます。

## ディスプレイ 出力



- 時刻表示** 日付と時刻をライブ画面に表示します。
- CAMタイトル** CAM番号で設定したチャンネル名をライブ画面に表示します。
- 録画状態** 録画中マーク  をライブ画面に表示します。
- 状態** アラームの状態をライブ画面に表示します。
- チャンネル分割線** 各カメラごとに枠を表示します。
- アラーム点滅** アラーム検知時、チャンネルの枠の色が変化します。
- デバイスQRコード** ライブ画面上部にネットワーク接続状態を表示します。マウスでポインタ  を近づけると、スマートフォン用アプリのQRコードが表示されます。
- 透明度** 設定ウィンドウの透明度を設定できます。
- 解像度** 映像出力の解像度を設定できます。接続するモニターにあわせて設定してください。

マスクングや、録画映像の時刻表示・CAMタイトルに関する設定をおこないます。  
以下の設定は録画映像に反映されます。

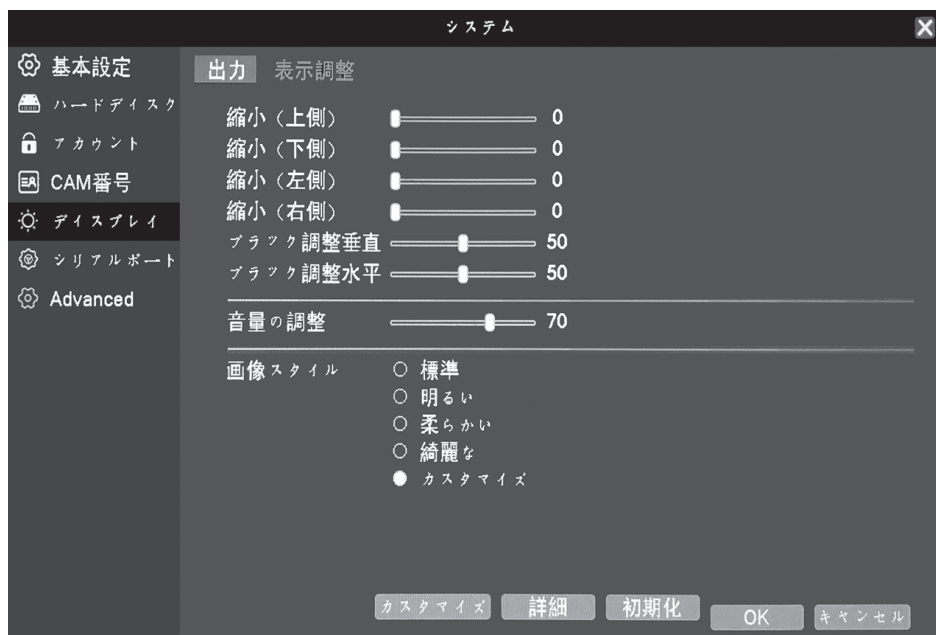
- CAM** マスクング/時刻表示/CAMタイトルを設定するチャンネルを選択します。
- マスクング** カメラごとに4か所までの任意の領域をマスクングできます。
- 時刻表示** 録画映像上の時刻表示の有無
- CAMタイトル** 録画映像上のCAMタイトルの有無
- 設定** 録画映像上の時刻表示、CAMタイトルの表示位置を変更できます。

\*チャンネル番号、カバー領域、時刻名、チャンネル名の設定機能を使用できるのは、デバイスがハイブリッド（HVR）モードまたはフルアナログ（DVR）モードのときだけです。



# システムーディスプレイ

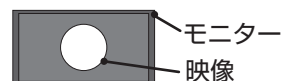
## 表示調整



接続したモニターテレビにあわせて表示の調整をおこないます。

縮小 (上側)	画面の上側を画像縮小します。	
縮小 (下側)	画面下側を画像縮小します。	
縮小 (左側)	画面左側を画像縮小します。	
縮小 (右側)	画面右側を画像縮小します。	
ブラック調整垂直	画面垂直方向へ移動調整します。	
ブラック調整水平	画面水平方向へ移動調整します。	

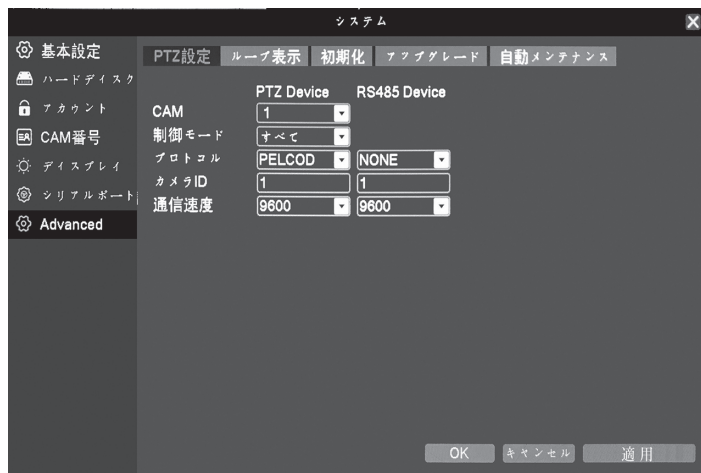
「ブラック調整垂直」、「ブラック調整水平」は通常使用しません。



音量の調整	入力された音をレコーダーからスピーカー又は HDMI に出する時の音量調節。 ※記録音量やブザー音量には影響しない。
画像スタイル	標準 明るい 柔らかい 綺麗な カスタマイズ
カスタマイズをクリックして以下の設定ができます。	
輝度	明るさの度合いを調整します。
コントラスト	明るい箇所と暗い箇所の差を調整します。
彩度	鮮やかさを調整します。発色を強くしたり弱くします。
色合い	発色を濃くしたり薄くするなどの調整します。

# システム-Advanced

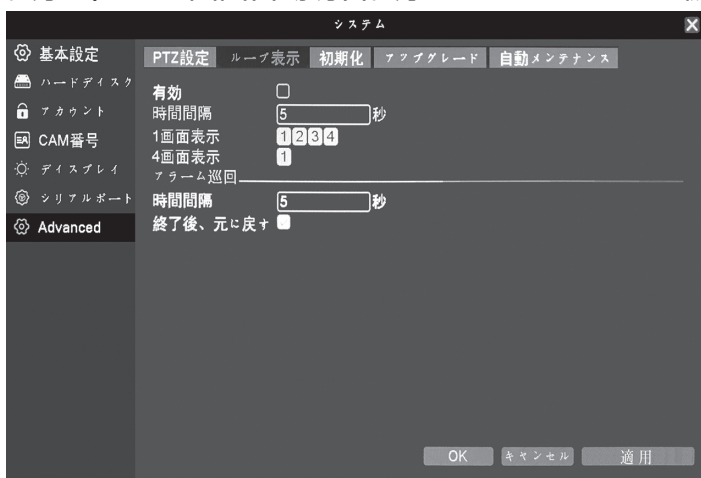
- ① PTZ 設定      パン・チルト・ズーム（上・下方向・ズームイン / 拡大やズームアウト / 縮小）の操作に対応しているカメラに関する設定をおこないます。



接続する PTZ カメラの仕様にあわせて設定してください。

- ② ループ表示

ループ表示（カメラ画面自動切替表示 オートシーケンス機能）の設定画面です。



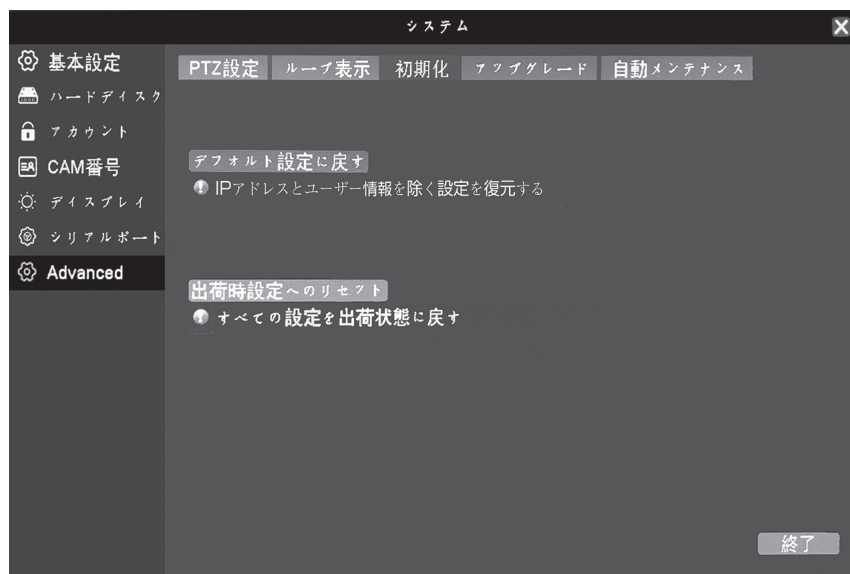
有効	<input type="checkbox"/> に“✓”で、ライブ画面でのループ表示が有効になります。
時間間隔	切り替え時間間隔を設定できます。設定範囲は5～120秒です。
1画面表示 4画面表示	ループ表示させたいチャンネルをクリックし選択します。 4画面表示もループに混在させることができます。
アラーム巡回	各アラーム設定画面「画面ループ設定」で選択したチャンネルの、各アラーム検知時のループ表示を切り替える間隔を設定できます。設定範囲は5～120秒です。 「終了後、元に戻す」に“✓”で、アラーム終了後に4画面表示に戻ります。

ライブ画面のときに右上のアイコン / をクリックすると、ループ表示のオン / オフを切り替えることができます（ はオンを、 はオフを意味します）。

# システム-Advanced

## ③ 初期化

初期状態に戻すことが可能です。すべて、または部分的にリセットします。「メニュー」を表示し、「システム」をクリックし、設定画面を開きます。「Advanced」をクリック後、「初期化」をクリックし、設定画面を開きます。



# システム-Advanced

## ④ アップグレード

本機のファームウェアやソフトウェアの更新をする場合に操作します。USB フラッシュメモリーにあらかじめアップグレードファイルをコピーしておいてください。



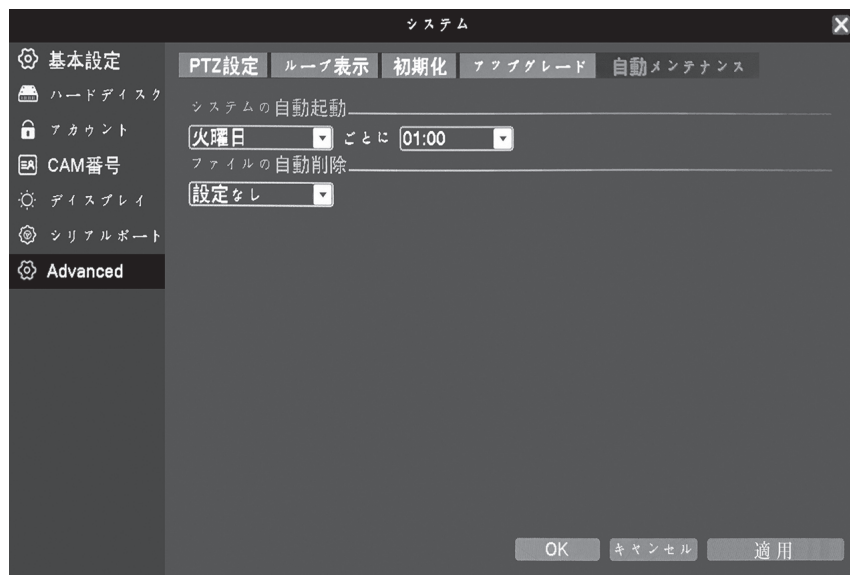
**アップグレードの場所**  
USB インターフェイスを選択します。

**ファイル名**  
アップグレードファイルを選択し [ アドバンス ] をクリックします。

# システム-Advanced

## ⑤ 自動メンテナンス

時間を設定して再起動とファイルの削除を自動で行うことができます。



### システムの自動起動

システムを安定動作させるため、1週間につき1回程度、システムの再起動をおすすめいたします。ここで設定しておけば、自動で再起動をおこないます。

※再起動の動作中、録画は停止いたします。

「設定なし」、「毎日」、「日曜日」、「月曜日」、「火曜日」、「水曜日」、「木曜日」、「金曜日」、「土曜日」を、1時間ごとに設定できます。

設定された曜日、時間に自動時にシャットダウン→起動します。

その間は録画が中断されますのでご注意ください。

### ファイル自動削除

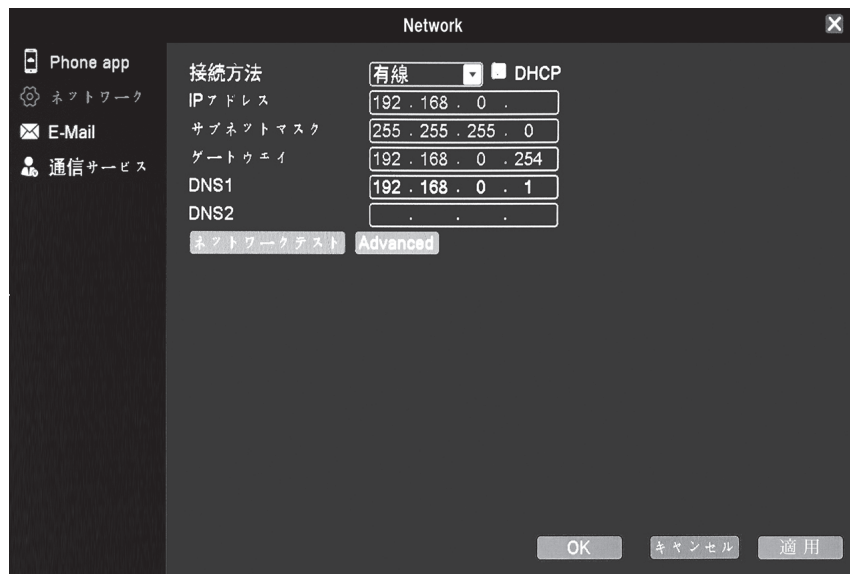
「設定する」、「設定なし」を選択します。

「設定する」を選択した場合、設定した日数以前の録画データを自動で削除します。

1日～255日の間で設定が可能です。

# Network—ネットワーク

本機をネットワークに接続するための設定をおこないます。ライブ映像や録画データをパソコンやスマートフォンなどから閲覧・操作が可能になります。 ※インターネットに接続してください。



① 接続方法	本機はLANケーブルでネットワークに接続するので「有線」の設定です。
② DHCP	本機に割り当てるIPアドレスをDHCPサーバーより自動に取得します。
③ IPアドレス	本機に割り当てるプライベートIPアドレスを設定します。同じネットワーク上の他の機器と重複しないよう設定してください。
④ サブネットマスク	ネットワークの環境に応じて設定してください。
⑤ ゲートウェイ	ルーターのIPアドレスを入力してください。
⑥ DNS1 (プライマリDNSサーバー)	プロバイダーから指定されたDNSサーバーのアドレスを入力してください。
⑦ DNS2 (セカンダリDNSサーバー)	プロバイダーから指定されたDNSサーバーのアドレスを入力してください。

Advanced をクリックすると表示されます。

⑧ メディアポート	必要に応じて変更してください。
⑨ HTTPポート	必要に応じて変更してください。
⑩ 高速転送設定	高速転送を有効にする場合は、 <input type="checkbox"/> に“✓”します。
⑪ 転送基本	「最適化」、「画質優先」、「速度優先」の3つのオプションがあります。この設定に応じてコードストリームが調整されます。「最適化」は、「画質優先」と「速度優先」の中間にあたる設定です。補助コードストリームがオンの場合は、「速度優先」、「最適化」が有効になります。それ以外の場合は、「画質優先」が有効になります。

参考	LAN側IPアドレスが192.168.0.1のルーターを使用している場合、以下のように設定します。
IPアドレス	192.168.0. <input type="text"/> ←1以外でパソコン・ネットワークプリンタ等と重複しない値。
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1
DNS1	192.168.0.1
※詳しくは、ご契約されているプロバイダー、又はシステム管理者様にお問い合わせ下さい。	

# Network—通信サービス

ネットワーク接続に関する詳細な設定をおこないます。



※各項目をマウスでクリックすると設定画面が表示されます。

- ① **DDNS**            ダイナミック DNS の設定をおこないます。
- ② **UPNP**            UPnP を使用する場合に設定をします。
- ③ **RTSP**            Real Time Streaming Procotol の設定をおこないます。
- ④ **FTP 設定**        「アラーム」の各項目で FTP アップロードを選択した場合にアップロードする FTP サーバーの設定をおこないます。指定した FTP サーバーのルートディレクトリに「(IP アドレス)\_(シリアル番号)」のディレクトリを作成します。「リモート目録」に文字列を入力した場合、「(文字列)\_(IP アドレス)\_(シリアル番号)」となります。
- ⑤ **NTP 設定**        本機の時刻をネットワーク上の NTP サーバーに同期する事ができます。自動又はカスタムを選択してください。カスタムを選択した場合は、NTP サーバーの IP アドレスとポートを設定します。時刻を更新する間隔を設定します。  
※更新周期 1 ～ 65535 分
- ⑥ **Wifi**             本機では使用しません。
- ⑦ **3G Network**     本機では使用しません。
- ⑧ **モバイル通知**    スマートフォンへのプッシュ通信を有効 / 無効にします。

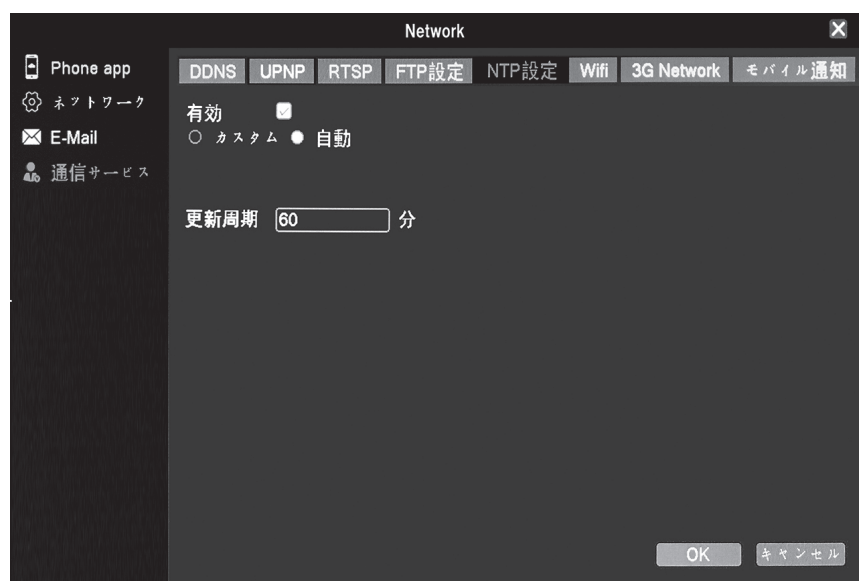
# Network—通信サービス

## ⑤ NTP 設定について

本機をネットワーク上の NTP サーバーの時間と同期させることができます。インターネット上に公開されている NTP サーバーに接続し、本機の内蔵時計を正確な時刻に同期できる機能です。

有効 に“✓”をし、「更新周期」を入力します。更新周期は、NTP サーバーに時間を問い合わせる間隔です。あまり短い周期にすると NTP サーバーに負荷をかける恐れがあるので、通常は 1440 分(24 時間) 程度を推奨します。

ネットワーク上に同期したい NTP がある場合や、ご契約されているプロバイダより提供されている NTP がある場合、「○ カスタム」をクリックし、サーバーの IP アドレスおよびポート番号を入力してください。



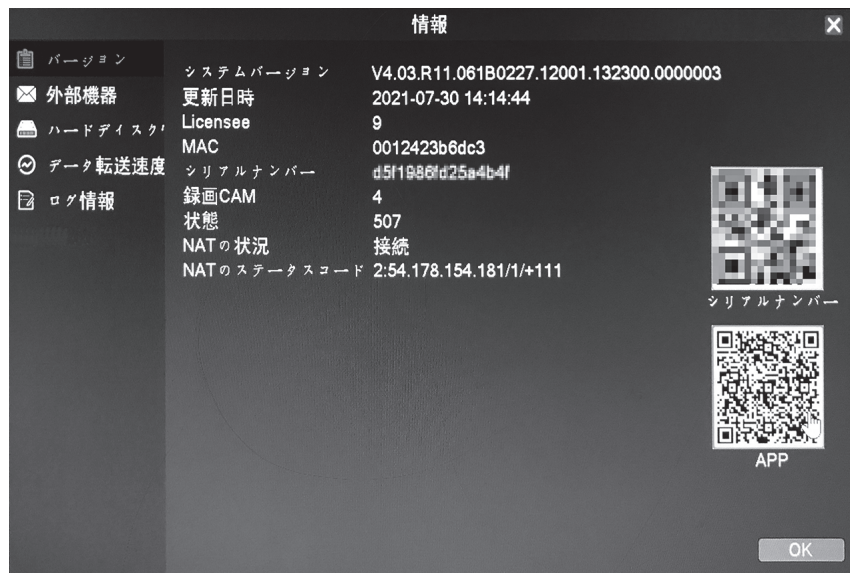


# 情報

## ① バージョン

本機のシステムバージョン、MAC アドレス、シリアルナンバー等の情報を表示します。

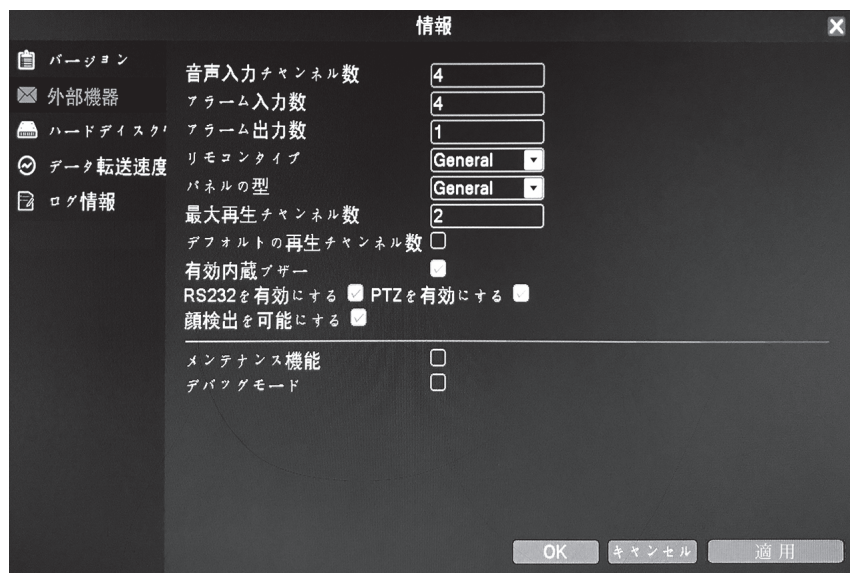
また、スマートフォン用アプリの QR コードも表示します。



## ② 外部機器

音声入力・アラーム入出力などに関する確認をおこないます。

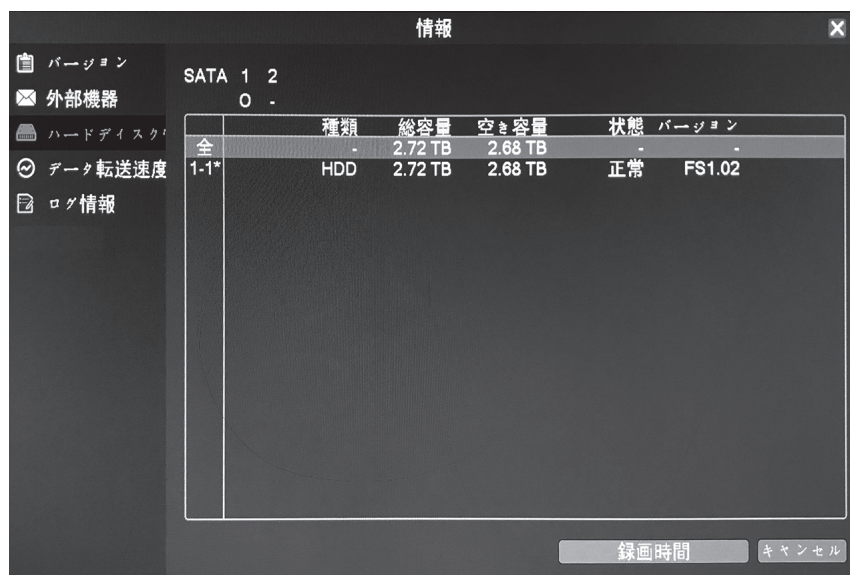
数値は特に変更する必要はありません。



# 情報

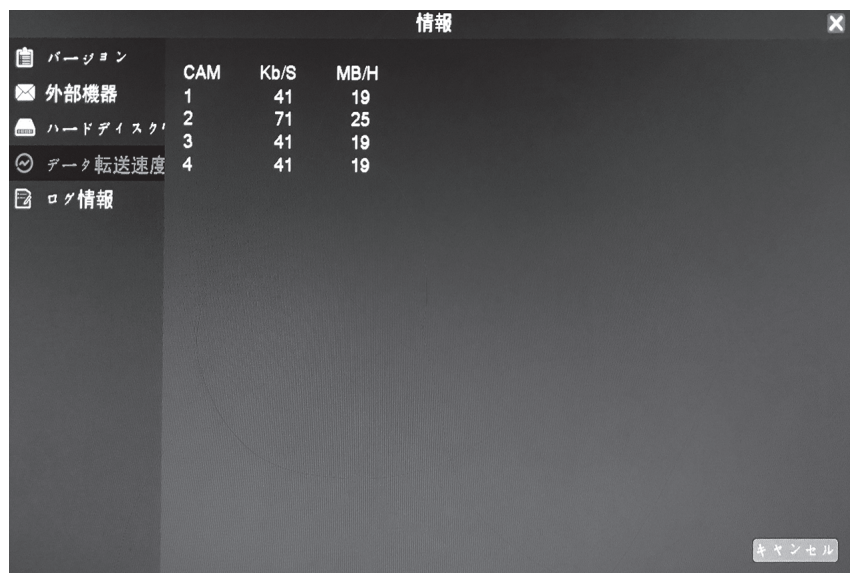
## ③ ハードディスク情報

本機に内蔵されたハードディスクの情報を表示します。



## ④ データ転送速度

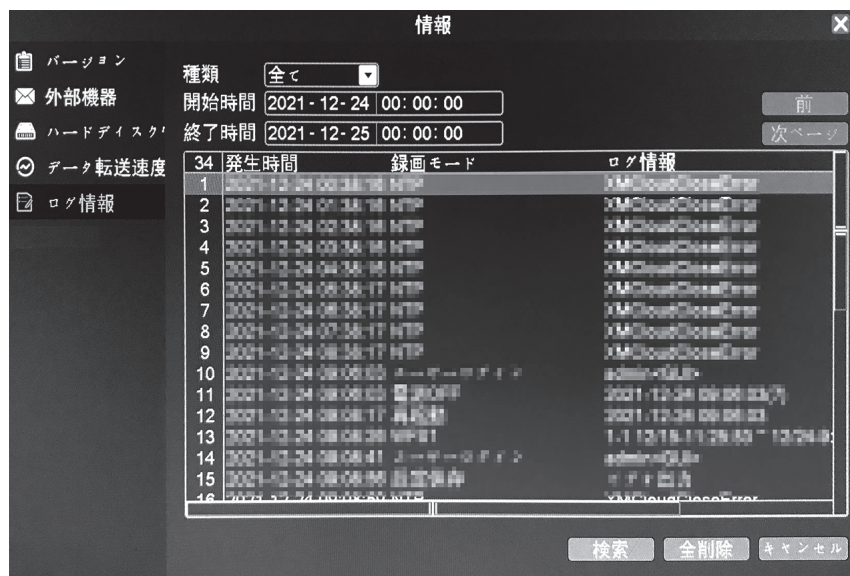
コードストリームの速度(Kb/S)をリアルタイムに表示します。



# 情報

## ⑤ ログ情報

本機のログ情報を表示します。  
膨大なログ情報が記録されますので、ログの種類や期間で表示を絞り込むことができます。



# ログアウト



## 4.7.1 ログアウト

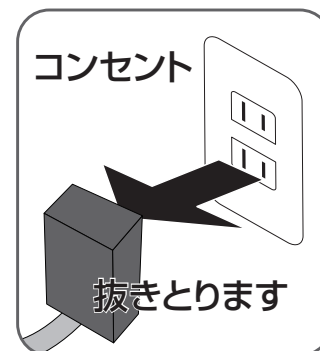
クリックすると、現在ログイン中のユーザーからログアウトします。  
再度、本機を操作する場合には、新たにログインしてください。

## 4.7.2 電源 OFF

クリックすると、本機の電源を切る準備をします。  
終了画面が表示されたら、AC アダプターをコンセントから抜いてください。



▲終了画面



## 4.7.3 再起動

本機の動作が不安定になったとき、再起動をすると改善する場合があります。  
クリックすると、再起動します。  
※定期的に自動で再起動させる設定があります。

## 主な設定について

### 基本設定

Q 時刻を直すには？ 時刻合わせを自動でするには？

A 手動で時刻合わせ

メニュー>システム>時刻設定>時刻の数値を設定>  ※詳しくは [▶33](#)

自動で時刻合わせ（ネットワークに接続している場合）

Network>NTP 設定>有効を  >  ※詳しくは [▶46](#)

Q カメラ画面を自動切替え（ループ表示）するには？

A メニュー>システム>Advanced>ループ表示>有効を  >

画面の切り替わる秒数の設定：5 秒～120 秒 まで

Q ライブ画面上部 “接続されていません” を消すには？

A メニュー>システム>ディスプレイ>デバイス QR コードの  を  に >

Q パスワードの設定や変更をするには？

A メニュー>システム>アカウント>パスワード変更>パスワード設定

Q ハードディスクの空き容量を確認するには？

A メニュー>情報>ハードディスク

### 録画について

Q 録画保存期間を増やすには？ ※詳しくは [▶23](#)

A メニュー>録画機能>録画画質>各種項目の設定をして下さい

Q 映像に動きがある時だけ（モーション）録画するには？ ※詳しくは [▶26](#)

A ①メニュー>アラーム機能>モーション設定>有効を  >

②メニュー>録画機能>録画機能>検出を  >

Q モーション録画の感度設定を変えるには？ ※詳しくは [▶26](#)

A メニュー>アラーム機能>モーション設定>有効を  > 感度 1～6 >

Q モーション録画の検知エリアを変更するには？ ※詳しくは [▶27](#)

A メニュー>アラーム機能>モーション設定>有効を  > エリア設定 > 設定

Q モーション録画の数秒前の映像から録画する『事前録画』の設定をするには？

A メニュー>録画機能>録画機能>事前録画 1～30 秒

Q モーション録画の録画秒数の設定をするには？

A メニュー>アラーム機能>モーション設定>有効を  > 詳細 > 録画時間（10～300 秒）

## 主な設定について

---

### 再生について

Q 再生画面の指定部分を拡大して見るには？

A 2分割画面の見たい画面をダブルクリック>1画面表示>拡大したい部分をドラッグ

### カメラについて

Q UTC 対応カメラのメニュー画面を開くには？

A メニュー>同軸制御>マークをクリック>(決定) カメラのメニュー画面へ

※設定方法はカメラの取扱説明書をご覧ください。

Q UTC 対応バリフォーカルレンズ搭載カメラのズーム・フォーカスを調整するには？

A メニュー>同軸制御>(メニュー画面が出ている場合は閉じる)

#### カメラのズーム調整

▲上ボタンでズームイン>決定 (自動でフォーカス調整)

▼下ボタンでズームワイド>決定 (自動でフォーカス調整)

#### カメラのフォーカス調整

▶フォーカスファー>決定 

◀フォーカスニア>決定 

※設定方法はカメラの取扱説明書をご覧ください。

※自動ズーム機能のある弊社カメラ (TR-H220VZ、TR-H210VZ) に対応。

Q マイク機能付カメラの設定方法は？ ※詳しくは 

A メニュー>録画機能>録画画質>映像 / 音声>音声

CAM:[ 音声端子を接続した番号 ] を選択

Q UTC 対応カメラの UTC 操作の挙動が不安定と感じた時は？

A メニュー>カメラの種類>AHD を●

## 特長







- AHD3.0 (500 万画素カメラ対応)
- AHD カメラを最大 4 台接続、200 万画素で録画可能
- 内蔵 HDD 3TB 搭載、長時間の上書き録画が可能
- 動きがあったら録画する、モーション録画搭載 (カメラごとに指定可能)
- 指定した時刻に録画する、スケジュール録画搭載 (カメラごとに指定可能)
- 音声も 4ch まで記録可能 (聴く場合はモニターテレビや外部スピーカー使用)
- USB フラッシュメモリーでデータをバックアップ可能
- 電源の復旧後にシステムが自動回復する、自動復旧機能搭載
- ネットワーク経由でスマートフォンやパソコンで遠隔監視可能
- H.265 高圧縮方式による長時間録画



## 録画日数の目安 (工場出荷時設定)

解像度	5M-N 1280 × 1920	1080P 1920 × 1080	960H 960 × 480
フレームレート	15FPS	25FPS	30FPS
画質	6 (最高)	6 (最高)	6 (最高)
日数	24 日	30 日	70 日

- カメラ 4 台を各解像度でフレームレートを最大値にした場合の、連続録画日数の参考値です。
- 連続録画日数はカメラの使用台数が少なかったり、録画画質やフレームレートを下げると長くなります。撮影対象によってファイルサイズが大幅に変動するため録画時間は表より短くなる場合があります。上記時間は参考であり、値を保証するものではありません。
- 容量がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返す、上書き録画をします。

## 故障かな?と思ったら

症状	確認と処置
全く動作しない。	電源アダプターの接続をご確認ください。
マウスの操作ができない。	もう1つのUSB端子に接続し直してください。
リモコン操作ができない。	リモコンの電池を確認してください。
UTCメニューの挙動が不安定。	メニュー>カメラの種類>AHDにチェック
モニターが映らない。	電源アダプターの接続をご確認ください。 電源表示ランプは赤く点灯している場合、 モニター ON/OFF ボタンを押してください。
モニターにカメラ映像が映らない。 (画面がブラックスクリーン)	カメラのACアダプター(電源)を確認してください。 カメラの電源をもう一度入れてください。 カメラが正しく接続されているか確認してください。
モーションの検知がうまく作動しない。	有効にチェックをいれてください。  <b>26</b> 
	検知が“弱い”または“反応しすぎる”と感じる場合は [感度]を調整してください。  <b>26</b> 
	カメラの角度調整や設置場所の変更を試してください。
	絶えず動くものが撮影範囲にある場合は、[エリア設定]で 非検知に設定してください。  <b>27</b> 
録画が停止している。	録画の設定はされていますか。
急にネットワークが繋がらなくなった。	インターネット環境をご確認の上、本体を再起動してください。
パスワードを忘れてしまった。	本機をお預かりさせて頂いての有料対応となります。 コロナ電業(03-3903-9712)までご連絡ください。

症状が解決できない場合は、電源を切りしばらくしてから電源を入れて再度症状を確認してください。各設定を工場出荷時の状態に戻して、再度症状を確認してください。  **41** 



必要に応じて

# 仕様

HDD 容量		3TB
信号方式		NTSC/PAL
液晶モニター		12.5 型 1366×768、TFT カラー、LED バックライト
入力端子	映像	BNC×4 AHD/CVBS 自動認識
	音声	RCA×4
出力端子	HDMI	タイプ A 最大 1920×1080 音声重畳
	CVBS	BNC×1
	音声	RCA×1 ※本体にスピーカーは内蔵しておりません。
録画	圧縮方式	映像：H.265/H.264 音声：G.711A
	解像度	D1/960H/960P/1080P/3M-N/4M-N/5M-N
	フレームレート	1080p：1～25FPS・5M-N：1～15FPS、その他 1～30FPS
	画質	6 段階 (1～6)
	録画モード	通常録画 モーション録画
画面表示	表示モード	1 画面 /4 画面
	自動画面切替	5～120 秒
再生	再生速度	スロー、早送り・高速逆再生 (×1、×2、×4、×8)、一時停止
	同時再生	最大 2 チャンネル
メニュー表示		日本語ほか 29 言語
操作インターフェース		リモコン、USB マウス
バックアップ		USB 端子を介して USB メモリ (128GB 以下) にバックアップが可能
USB 端子		USB2.0 Type-A 端子 ×2
ネットワーク	LAN 端子	RJ-45×1
	P2P	可
	DDNS	対応
同軸重畳制御 (UTC)		可 ※弊社製 AHD カメラのみ
アラーム入力		なし
アラーム出力		なし
電源電圧		DC12V/2A
消費電力		20W 以下
使用可能周囲温度		0℃～55℃
使用可能周囲湿度		10%～90% (結露なきこと)
外形寸法		W304×H230×D54mm (突起部、ゴム足含まず)
本体重量		約 1,760g

製品の外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。

# クラウド

本機は、P2P クラウドサービスに対応しております。  
クライアントサーバーを介さず本機とスマートフォンやパソコンを 1 対 1 で接続します。  
ルーターのポート設定などが不要なので、比較的簡単に遠隔監視が可能になります。

## スマートフォンで遠隔監視

### アプリ（無料）をインストールする

いずれかの方法で、お手持ちのスマートフォンにアプリをインストールしてください。

- ・ App Store(iPhone) または Google Play(Android) を開き、XMEye を検索し、ダウンロードする。
- ・ ブートウィザードの「アプリをインストール」画面で表示される APP の QR コードを読み取る。  
(ライブ画面を右クリック>ブートウィザードをクリック>「次」を 4 回クリック)
- ・ [メニュー]>[情報]>[バージョン] で表示される APP の QR コードを読み取る。  
[4.6.4 バージョン]⇒61 ページ

QR コード対応のカメラアプリなどで読み取ってください。

スタートアップウィザード「スマートフォンAPPをインストールする」画面



Network>Phone APP 画面



※有効に“✓”を入れてください。



XMEye Pro

スマートフォンの画面にしたがって、汎用クラウドアプリ  
“XMEye Pro”をインストールします。

## アプリを起動する

アイコンをタップし、アプリを起動します。 ※画面は、Android での例です。

【注意】 アプリのバージョンアップにより、下記の画面と違う表示となる場合があります。



①通知を「許可しない」「許可」を選択  
(初回起動時のみあとで変更できます)

「許可」を選ぶと、各アラームの  
「モバイル通知」を受信可能な状態にします。

# クラウド

## スマートフォンで遠隔監視 アプリのつかいかた



③ログイン画面が表示されます。

ユーザー登録をタップします。



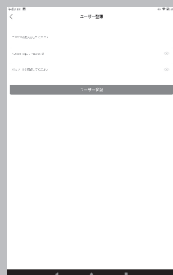
④設備リスト画面です。

サービス契約とプライバシーポリシーに関する Disagree 「同意しない」、Agree 「同意する」をタップして下さい。  
ここでは Agree 「同意する」をタップして次に進めます。

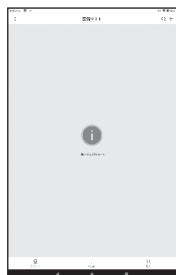
※Agree 「同意する」を選択しない場合はこれ以上次に進めません。



ユーザー登録を行います  
Eメールアドレス  
確認コードを入力して下さい。



ユーザー名と  
パスワードを入力して下さい。



⑤設備リストに、本機を登録します。

画面右上の「+」をタップしてください。



「許可」を  
タップします



「アプリの使用のみ  
許可」をタップします。



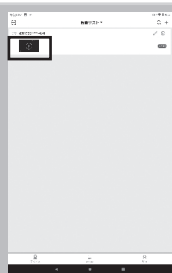
⑥NVR  
Add network hard disk  
recovder をタップします。



Devis serial number  
右側の [ ] をタップし  
ます。  
シリアルナンバーの QR  
コードを読む画面になり  
ます。  
シリアルナンバーの QR  
コードをスマートフォンの  
画面上の読みとり枠内  
に QR コードを読み取っ  
て下さい。



OK をタップします。



設備リストの中から  
選びタップします。



スマートフォンの画面に  
映像が表示されます。

スマートフォンに映像が表示されない場合、本機が正しくインターネットに接続されていないことが考えられます。  
設置箇所のネットワーク環境および本機の設定を再度ご確認ください。

# クラウド-iPhone XMEye Pro

本機は、P2P クラウドサービスに対応しております。  
クライアントサーバーを介さず本機とスマートフォンやパソコンを 1 対 1 で接続します。  
ルーターのポート設定などが不要なので、比較的簡単に遠隔監視が可能になります。

## スマートフォンで遠隔監視

### アプリ（無料）をインストールする

いずれかの方法で、お手持ちのスマートフォンにアプリをインストールしてください。

- ・ App Store(iPhone) を開き、XMEye Pro を検索し、ダウンロードする。
- ・ スタートアップウィザードの「スマートフォン APP をインストール」画面で表示される APP の QR コードを読み取る。  
(ライブ画面を右クリック>スタートアップウィザードをクリック>「次」を 3 回クリック)
- ・ [メニュー]>[情報]>[バージョン] で表示される APP の QR コードを読み取る。

QR コード対応のカメラアプリなどで読み取ってください。

スタートアップウィザード「スマートフォンAPPをインストールする」画面



Network>Phone APP 画面



※有効に“✓”を入れてください。



XMEye Pro

スマートフォンの画面にしたがって、汎用クラウドアプリ  
“XMEye Pro”をインストールします。

## アプリを起動する

アイコンをタップし、アプリを起動します。 ※画面は、iPhone での例です。

【注意】 アプリのバージョンアップにより、下記の画面と違う表示となる場合があります。



サービス契約とプライバシーポリシーに関する Disagree「同意しない」、Agree「同意する」をタップして下さい。ここでは Agree「同意する」をタップして次に進めます。

※ Agree「同意する」を選択しない場合はこれ以上次に進めません。



# クラウド-iPhone XMEye Pro

## スマートフォンで遠隔監視 アプリのつかいかた



③ログイン画面が表示されます。

ユーザー登録をタップします。

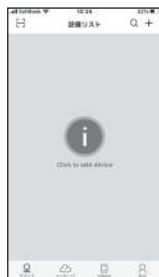


④ユーザー登録を行います

すぐに確認できる E メールアドレスを入力し、「確認コードを取得する」をタップして下さい。しばらくすると確認コードが記されたメールが届きますので、確認コードを入力し「次のステップ」をタップして下さい。

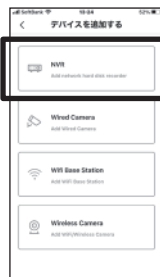


ユーザー名とパスワードを入力し、クラウドログインをタップして下さい。



⑤設備リストに、本機を登録します。

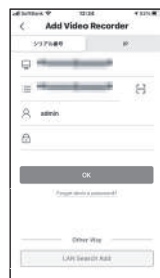
画面右上の“+”をタップしてください。



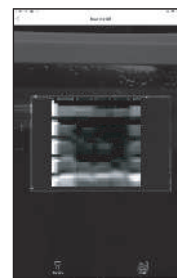
NVR  
Add network hard disk recorder をタップします。



⑥カメラへのアクセスを「OK」をタップします。



Devis serial number 右側の [ ] をタップします。シリアルナンバーの QR コードを読む画面になります。シリアルナンバーの QR コードをスマートフォンの画面上の読みとり枠内に QR コードを読み取って下さい。



OK をタップします。

デバイスを  
タップします。

スマートフォンの画面に  
映像が表示されます。


スマートフォンに映像が表示されない場合、本機が正しくインターネットに接続されていないことが考えられます。設置箇所のネットワーク環境および本機の設定を再度ご確認ください。

# クラウド

## パソコンで遠隔監視 アプリケーションのダウンロードとインストール


コロナ電業株式会社のホームページから、専用ソフトウェアをダウンロードします。  
パソコンへインストールし、パソコンからネットを介した監視をおこないます。  
ホームページアドレス <http://www.corona-dengyo.co.jp/>

**①** 「コロナ電業」のホームページを検索します。




**②** コロナ電業のホームページのトップページより

**①** 「ダウンロード」をクリックします。




**③** ダウンロードページから「AVR8124HM」の項目を参照。

**①** ダウンロードボタンをクリックします。



**②** ソフトウェアのダウンロードを開始します。

**③** 「ソフトウェアアップデート製品付属アプリケーション」をクリックしますとダウンロードページへ移ります。



# クラウド

## パソコンで遠隔監視

### 1. ダウンロードしたソフトウェアを起動します。

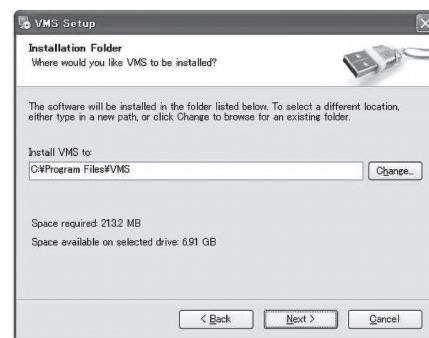
「English」をクリックします。

次に「Next」をクリックし次の画面へ進みます。



### 2. 通常は、このまま「Next」をクリックし次へ進みます。

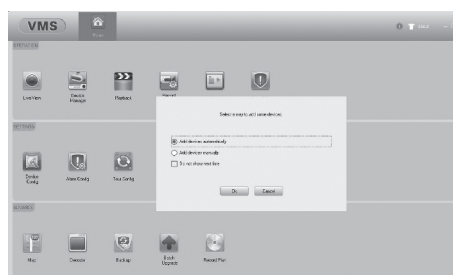
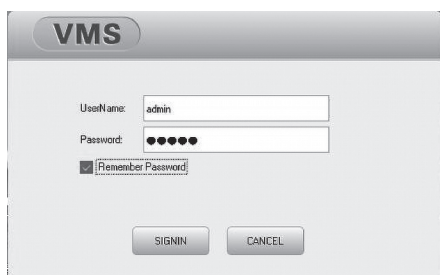
ソフトウェアの保存先を示しています。通常「プログラムファイル」のフォルダ内に保存されます。保存先を変更する場合は「change」をクリックし、任意のフォルダへ保存してください。



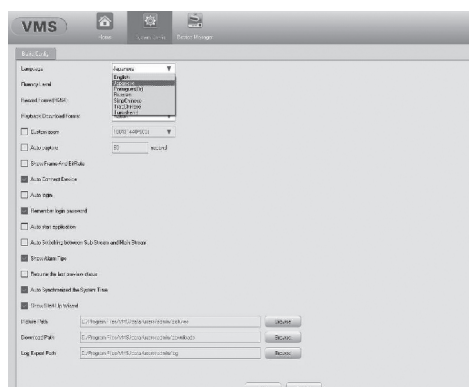
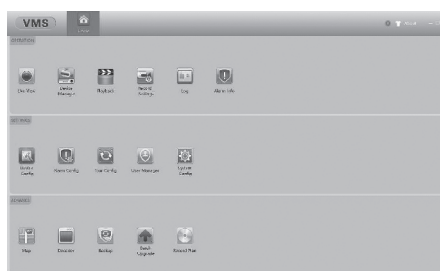
### 3. 操作言語の変更

英語画面でログインする。「SIGNIN」をクリックします。

次の画面で「Cancel」をクリックします。



- ・「System Config」→「Language」画面で「Japanese」に変更する。変更後「Apply」をクリックする
- ・変更後、ソフトを再起動し日本語画面に変更される。

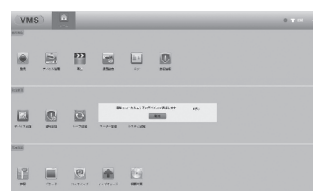
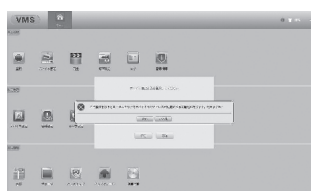


### 4. ログイン

ソフト再起動後日本語のログイン画面でログインします。

「ログイン」→「確定」→「はい」をクリックします。

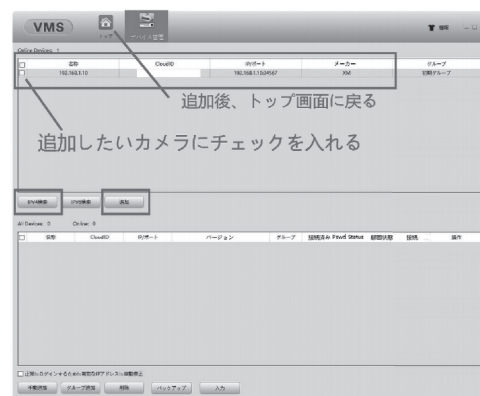
自動でデバイス追加のカウントダウンが始まり、デバイス管理画面へと進みます。



# クラウド

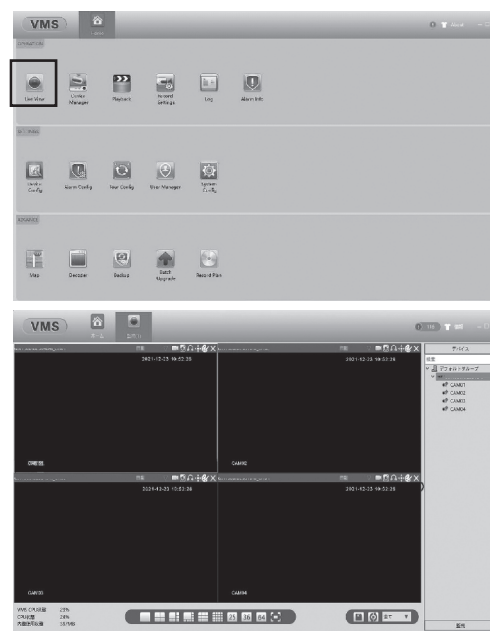
## 5. 防犯カメラの追加

「IPV4 検索」でカメラを検索する。追加したいカメラが表示されたら、追加したいカメラにチェックを入れ、「追加」ボタンでカメラを追加します。追加後「ホーム」ボタンをクリックし、ホーム画面に戻ります。



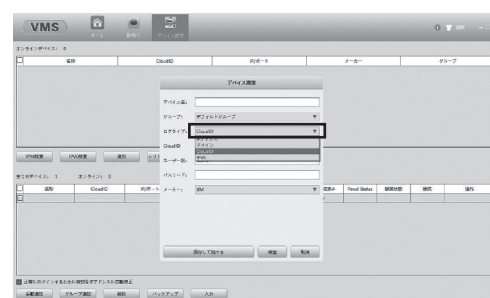
## 6. 防犯カメラの映像閲覧

メニューの「監視」をクリックします。ネットワークビデオ集中管理ソフトウェアの画面が表示され、設定した媒体が表示されます。  
(この場合は「デフォルトグループ」が表示されます。接続しているカメラチャンネルをダブルクリックするとチャンネルの映像が表示されます。)



### 手で防犯カメラを追加する場合

「デバイス管理」メニューから「手動追加」をクリックします。  
デバイス追加表のログタイプから Cloud ID を選択します。  
ご使用のレコーダーの Cloud ID を入力し「確定」ボタンをクリックします。  
「ホーム」ボタンをクリックしホーム画面の「監視」ボタンをクリックします。



※ライブ画面が表示されない場合は、本ソフトウェアを一度アンインストールし、常駐しているセキュリティソフトの動作をいったん止めてから、再度インストールし起動してみてください。  
(正常に表示されたらセキュリティソフトを再開してください)

